

# 令和7年度の取り組み内容について

## 【熊本県】

# 新規 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

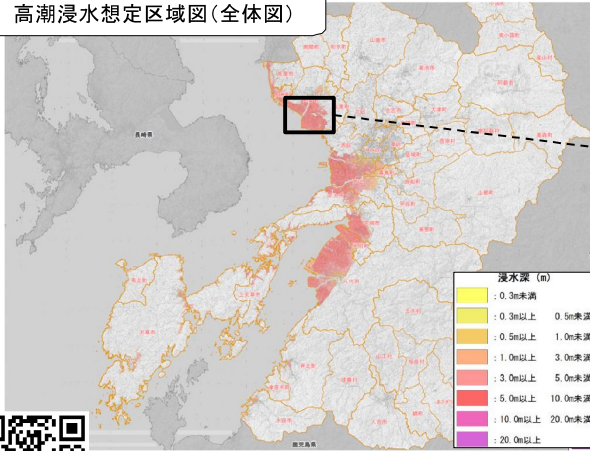
避難体制等の強化

熊本県

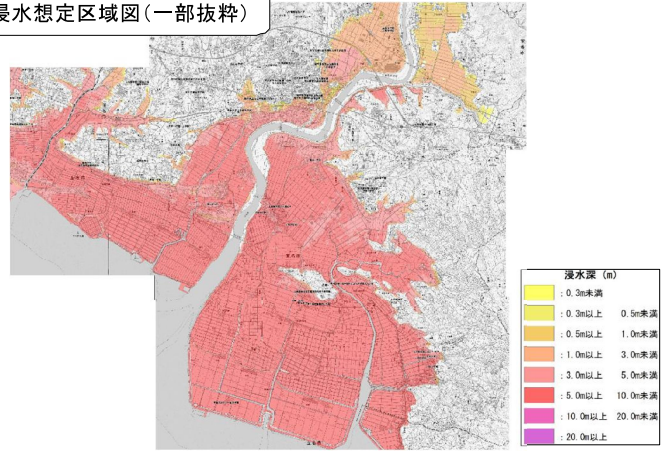
○ 高潮時の円滑かつ迅速な避難を確保し、又は浸水を防止することにより、水災による被害の軽減を図るため、高潮浸水想定区域を指定。

## 令和7年度 of 取組内容、進捗状況

高潮浸水想定区域図(全体図)



高潮浸水想定区域図(一部抜粋)



県HP: 高潮浸水想定区域図について  
※公表済の高潮浸水想定区域図: 変更なし

- ・外力: 想定最大規模(500年から数千年に一度程度の確率規模)
- ・中心気圧: 900hPa(室戸台風規模)・移動速度: 73km/h(伊勢湾台風規模)

## 令和7年度時点 of 取組進捗状況

想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に浸水が想定される区域を「高潮浸水想定区域」として、令和8年3月に指定予定。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
・避難体制等の強化	・高潮浸水想定区域の指定	R7完了		

# 新規 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

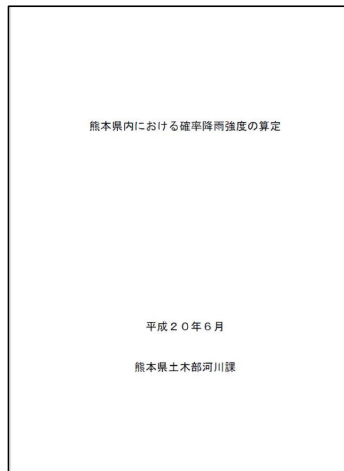
確率降雨強度式の見直し

熊本県

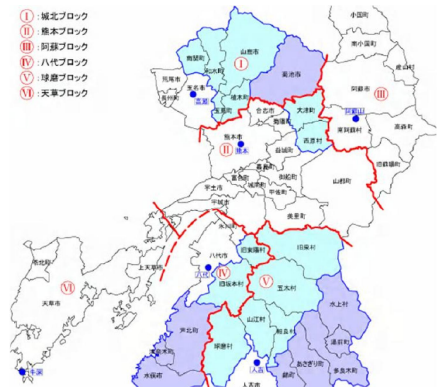
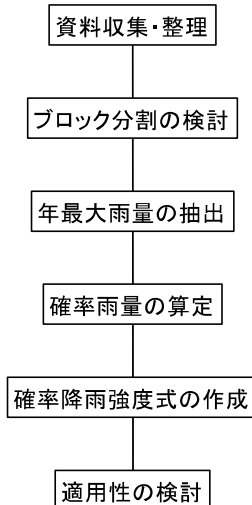
○ 昨今の地球温暖化等の気候変動を踏まえ、側溝等の排水施設の設計や開発に伴う調整池の設置における容量に係る構造基準として、計画規模に対応した計画降雨量の設定に用いる確率降雨強度式の見直しを行う。

## 令和8年度 of 取組内容

(確率降雨強度式見直しの概要)



熊本県における確率降雨強度の算定(H20年6月)



$$r_{50} = \frac{187.7}{t^{0.731} + 1.24}$$

(確率降雨強度式: 参考)

## 令和7年度時点 of 取組進捗状況

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
・確率降雨強度式の見直し	・確率降雨強度式の見直し	目標		

# 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

砂防関係施設の整備

熊本県

〇土砂災害から住民の命と暮らしを守るため、人家等に対する直接的な土砂災害防止を目的として砂防事業を実施。砂防関係施設を整備することにより、河川への土砂や流木の流出を抑制し、下流河川の河床上昇に伴う洪水被害の防止に繋げる。

## ■砂防関係施設の整備

事業箇所図（令和7年度）

事業の進捗状況（令和7年度）



## ■令和7年度時点の取組進捗状況

砂防関係施設を10箇所で開催計画（令和7年度は3箇所で測量設計、5箇所で用地買収、工事着手）  
令和8年度以降も、継続して砂防関係施設の整備を実施。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
土砂災害対策	砂防関係施設の整備	R7時点	目標	目標

# 継続 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

水田の貯留機能向上(田んぼダムの推進)

熊本県

〇熊本県では、現在、球磨川流域の人吉・球磨地域を中心に田んぼダムを推進しているが、今後は、県内全域に取組みを拡大していく方針。  
〇菊池川流域においても、今後、田んぼダムの普及・拡大を進めていく予定。

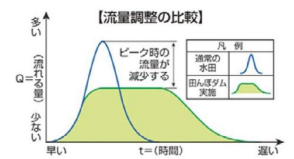
## 〇田んぼダムの仕組みについて

・水田の排水樹に流出量を調整するせき板を設置して、水田の雨水貯留効果をフル活用。



## 〇大雨時に水田からの排水量を抑制

・雨水をできるだけ水田に貯留することで、ピーク時の流量を減少させ、水田からの流出が緩和。



## 〇田んぼダムのイメージ



## ■令和7年度時点の取組進捗状況

関係市町へ取組み内容の説明や研修会を開催した。

(研修会実績)  
R7.10.1 合志市、R7.10.2 熊本市

(田んぼダム取組み面積)  
R7.3月時点 南関町10.1ha

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水田の貯留機能向上	田んぼダムの普及・拡大	R7時点	目標	目標

## 継続 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

森林の有する公益的機能の発揮に向けた森林整備・保全

熊本県、熊本森林管理署、森林整備センター 熊本水源林整備事務所

- 森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の発揮に向け、山地災害危険地区や菊池川水系流域の森林を主体として、引き続き、間伐等の森林整備を推進。
- 併せて、森林整備を効率的・効果的に進めるため、森林経営管理制度の活用や施業技術の実証・普及等を実施。

### 令和7年度の実施内容、進捗状況

- 菊池川上流域の森林整備を主体とした間伐等の森林整備の実施等



間伐後の森林

- 森林経営管理制度を活用した森林の集約化に向けた取組み



制度の活用に関する市町村支援(山鹿市)

- 造林作業等の省力化・低コスト化に向けた、新たな技術等の実証・普及



生分解性防草シートの実証施工(イメージ)

### 令和8年度の実施予定

- ・森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の発揮に向け、山地災害防止地区や菊池川水系流域の森林を主体として、間伐や再造林等の森林整備を実施予定。
- ・併せて、森林整備を効率的・効果的に進めるため、森林経営管理制度の活用や施業技術の実証・普及等を引き続き実施。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
森林整備・保全、治山施設の整備	森林整備・保全	R7時点	-----	----- 目標

## 継続 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

治山事業による土砂や流木の流出対策

熊本県、熊本森林管理署

- 山地災害が発生した箇所又はおそれのある箇所（山地災害危険地区）等を対象として、下流への土砂・流木の流出を抑止するための治山施設等の整備を実施。
- 森林内の表土流出抑止や森林被害の復旧のため、簡易な土木的工法（柵工、筋工）を組み合わせた、森林整備を推進。

### 取組内容の説明

#### ○溪流荒廃箇所の復旧

- ・溪岸が浸食された溪流において、谷止工を施工し土砂等の流出を防ぐ取組を実施



・市町村：山鹿市  
・工事内容：谷止工



#### ○山腹崩壊箇所の復旧

- ・林地が崩壊した箇所において、山腹工を施工し森林へ復旧する取組を実施



・市町村：山鹿市  
・工事内容：山腹工



#### ○森林整備の実施

- ・流木被害が発生するおそれのある保安林において、筋工を組み合わせた森林整備を実施



・市町村：菊池市  
・工事内容：森林整備



### 令和7年度時点の取組進捗状況

山地災害が発生した箇所について、谷止工や山腹工等の復旧工事及び森林整備を実施。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
森林整備・保全、治山施設の整備	谷止工、山腹工等の実施	R7時点	-----	----- 目標

# 継続 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

防災イベントにおける浸水想定区域図の周知

熊本県  
(玉名地域振興局)

〇市町が主催する防災イベントにおいて、来場者に自宅周辺の浸水想定区域図を確認してもらい、防災意識の向上を図る。

## ■取組内容の説明



あらかお防災フェスタでの様子  
(令和6年9月1日:荒尾市総合文化センター)



長洲町防災フェアでの様子  
(令和6年10月20日:金魚と鯉の郷広場)



防災情報くまもとのホームページを活用し、来場者に自宅周辺の浸水想定範囲や浸水深を認識してもらうことで、避難場所までの避難経路の確認や、事前の避難の呼びかけを行うことにより、防災意識の向上を図る。

## ■令和7年度時点の取組進捗状況

あらかお防災フェスタ(令和6年9月1日)、長洲町防災フェア(令和6年10月20日)に参加し、県民等への啓発活動を行った。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
防災意識の啓発	防災イベントにおける浸水想定区域図の周知	R7時点		目標

# 完了 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

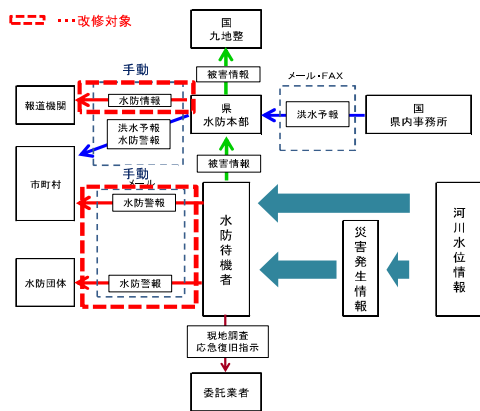
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

水防警報発令システム改修

熊本県

〇関係機関への水防警報発令や報道機関への水位超過に関する情報提供について、的確かつ迅速な情報発信を目的として、関係機関への情報発信を半自動化する水防警報発令システムの改修を行う。

### 【現在の水防待機業務の流れ】



### 【改修後の操作画面イメージ】

※水防警報マニュアルはこちら

地名	河川名	市町村	現在水位 [m]	水位差分 [m]	警戒水位 [m]	はん濫危険水位 [m]	避難開始水位 [m]	避難解除水位 [m]	水位	警報	発令	警報
行末川	行末川	玉名郡美郷町	1.02	0.11	0.97	2.28	2.93	3.49		解除	解除	送信
栗切	栗切川	荒尾市	6.80	-0.04	6.84	9.26	9.99	10.64		解除	解除	送信
浦川	浦川(玉名)	玉名郡						3.92		解除	解除	送信
電船橋	関川	玉名郡						1.46		解除	解除	送信
廣人川	廣人川	玉名						1.63		解除	解除	送信
種島橋	境川(玉名)	玉名						3.15		解除	解除	送信
南大門橋	境川(玉名)	玉名						2.42		解除	解除	送信
和仁川	和仁川	玉名郡						3.70		解除	解除	送信
玉東	木瀬川	玉名郡玉東町	0.55	-0.01	0.56	2.00	3.28	3.92		解除	解除	送信
木瀬	木瀬川	玉名市	0.89	0.00	0.89	2.67	4.92	5.57		解除	解除	送信
繁樹木	繁樹木川	玉名市	1.01	-0.01	0.98					解除	解除	送信

・水防警報発令・解除のタイミングで、ポップアップ画面が立ち上がる  
⇒発令ボタンを押すことで水防警報が自動的に発令される

## ■令和5年度時点の取組進捗状況

令和3年10月に水防警報発令システムの改修を完了し、現在運用中。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
土地の水災害リスク情報の充実	水防警報発令システムの改修(半自動化)	完了		

# 完了 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

洪水・土砂災害ハザードマップ土地のリスク情報の充実(浸水想定区域図の作成)

熊本県

- 菊池川水系の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)については、水位周知河川以外の河川も含む県管理河川全70河川において、令和4年3月までに作成・公表済み。
- 作成した洪水浸水想定区域図をより分かりやすく閲覧できるよう、県ホームページ「防災情報くまもと」の改良を実施した。

### 位置図

### 【画面イメージ】防災情報くまもと

## 令和5年度時点の取組進捗状況

令和4年3月までに作成・公表した洪水浸水想定区域図については、県ホームページ「防災情報くまもと」の改良を実施し、令和5年1月より公表した。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	水位周知河川以外の河川の洪水浸水想定区域図の作成	完了		

## 1) ①水防学習・教育の推進【熊本県危機管理防災局防災推進課】

### 防災に関する継続性のあるイベント等の企画、実施

- 教職員向け研修会を開催し、学校の防災担当教職員等にマイタイムラインの作成方法や防災教育に関する支援を実施。
- くまもとマイタイムライン専用WEBサイトや作成支援動画について、県政広報媒体や防災講話等で周知。
- 地域の防災リーダーの育成及びスキルアップを支援するため、火の国ぼうさい塾や各地域での防災講話等を実施。

マイタイムライン専用WEBサイト、作成支援動画

教職員向け研修会

火の国ぼうさい塾





# 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画の策定(防災指針の追加を含む)、最新のハザード情報を基にした立地適正化計画の見直し

熊本市

- 立地適正化計画の防災指針に基づき、災害リスクに備えた多核連携都市を目指す。
- 居住誘導区域を中心に防災部局等の保有するハザード情報と都市部局が保有する都市の情報を組み合わせ災害リスクを分析。
- 各地区の防災上の課題を踏まえ、関係部局と連携し災害リスクの回避や低減を図るための取組を総合的に組み合わせ展開。

## 取組内容の説明

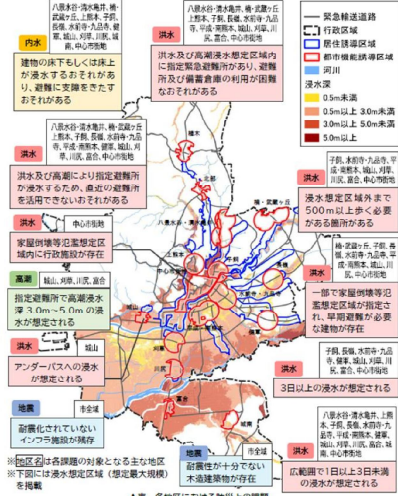
- ・令和3年3月の立地適正化計画改定により追加した“防災指針”に基づき、防災部局や市民部局などと連携した 災害リスクの周知や各種取組の推進を図る。
- ・令和6年度に公表された白川水系の内外水一体型のリスクマップ等を踏まえ、“防災指針”の見直しを実施。
- ・最新のハザードを基に、居住誘導区域の災害リスクを抽出し、リスクの回避・低減のための取組を位置付けた。

▼表 重ね合わせる災害ハザード情報と都市情報

種別	災害ハザード情報	都市情報
洪水	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浸水想定区域(浸水深・浸水到達時間・浸水継続時間・流速)</li> <li>※白川、加勢川、緑川の浸水想定区域を重ね合わせて最大となる情報を表示</li> <li>●家屋倒壊等氾濫想定区域</li> <li>●リスクマップ(高頻度・中頻度・計画規模(L1)・想定最大規模(L2))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●建物(階数)</li> <li>●建物(旧耐震基準に基づき建てられたと想定される木造建築物の分布)</li> </ul>
高潮	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浸水想定区域(浸水深)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難所・備蓄倉庫</li> <li>●防災拠点</li> <li>●災害時協力企業井戸</li> </ul>
内水	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浸水想定区域(浸水深)</li> <li>※旧耐震基準に基づき建てられたと想定される木造建築物の分布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●道路(アンダーパス等)</li> <li>●道路(緊急輸送道路)</li> </ul>
地震		

▼表 都市情報と分析の視点

都市情報	分析の視点
道路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水平避難が可能か(浸水地域に対応する避難所があるか)</li> <li>・垂直避難が可能か(どこに垂直避難困難な建物が分布しているか)</li> <li>・浸水しない箇所(高台部分)があるか(避難可能な高台はあるか)</li> </ul>
建築物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所・備蓄倉庫等が活用できるか(避難所・備蓄倉庫が浸水しないか)</li> </ul>
防災施設	



## 令和7年度時点の取組進捗状況

令和3年3月の立地適正化計画改定により追加した“防災指針”を活用し、最新のハザードを基に、居住誘導区域の災害リスクを抽出し、リスクの回避・低減のための取組を位置付けることで、防災部局や市民部局などと連携した災害リスクの周知や各種取組の推進を図る。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	立地適正化計画の策定(防災指針の追加を含む)	R7時点		目標

# 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

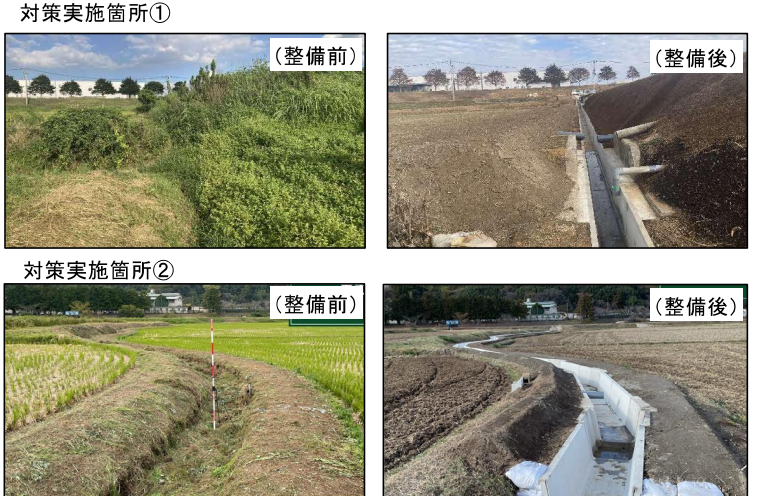
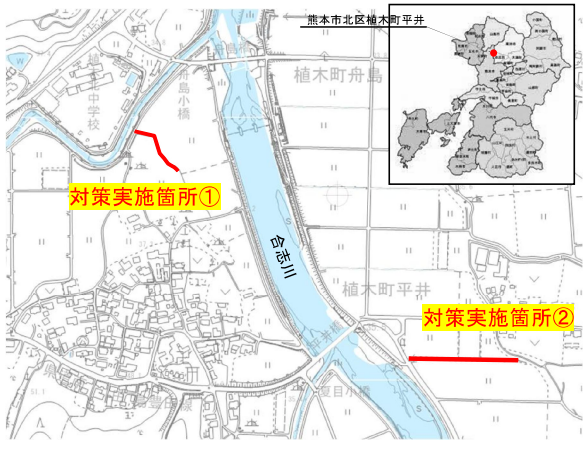
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

農業用排水路整備

熊本市

○菊池川水系内に存する老朽化した農業用排水路の更新を行う。

## 熊本市での農業用排水路整備事例



## 令和7年度時点の取組進捗状況

内水氾濫対策として農業用排水路整備を実施する。菊池川水系合志川へ排水する未整備の農業用排水路を整備。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
農業水利施設の整備	農業水利施設の整備	R7時点		目標

## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

・雨水貯留施設の設置補助  
・ため池の有効活用

熊本市

○地下水の涵養対策、節水対策及び雨水の流出抑制による水害軽減を図るため、雨水浸透ますや雨水貯留タンクの設置を推進する。

### ■取組内容の説明

#### 【雨水浸透ます】

- ・新築、増改築の場合は2基目、既存住宅の場合は1基目から補助対象として設定
- ・補助金は総額 200,000円を限度額とし、コンクリート製：19,000円/基、塩化ビニル製：14,000円/基を補助

#### 【雨水貯留タンク】

- ・雨水貯留タンク及び公共有下水道の設置に伴い不要となった浄化槽の雨水貯留槽として転用の2種類を設定
- ・雨水貯留タンクは、設置費の1/2(上限35,000円)を補助
- ・浄化槽の転用は、工事費の1/2(上限70,000円)を補助

#### 【ため池の治水利用】

- ・水利権が放棄された、ため池を治水利用に転換する



雨水浸透ますチラシ



家庭用雨水貯留タンク

### ■令和7年度時点の取組進捗状況

雨水浸透ますについては、令和7年12月までに雨水浸透樹10基※の設置補助を実施した。 ※熊本市域全域  
雨水貯留タンクについては、令和7年12月までに雨水貯留タンク14基、浄化槽転用0基※の設置補助を実施した。  
ため池については、令和7年12月までにおいて実績なし。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能の向上	雨水貯留施設の設置補助 ため池の有効活用	R7時点 → 目標		

## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策

土砂災害特別警戒区域からの移転促進事業

熊本市

○熊本県では土砂災害特別警戒区域（以下、レッドゾーン）内に居住する方々を安全な区域へ住宅移転させる「土砂災害危険住宅移転促進事業」を平成27年に創設しており、本市においても「熊本市土砂災害危険住宅移転促進事業」を創設し、住宅移転を促進している。

### ■取組内容の説明



土砂移転チラシ

- 事業創設後、毎年数件の申請があり、市内の安全な区域へ移転
- 対象者には移設費最高300万円の補助あり
- 県内移転であれば、本事業の活用が可能である  
(各市町村の土砂災害危険住宅移転促進事業を活用)

### ■令和7年度時点の取組進捗状況

令和7年度において、令和7年12月末時点で3件申請があり、レッドゾーンから熊本市内に移転している。(申請件数は市全体の数)

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
レッドゾーンからの移転の促進	土砂災害特別警戒区域からの移転促進	R7時点 → 目標		

## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策

がけ地近接等危険住宅移転事業

熊本市

〇がけ崩れ、土石流、地すべり等の危険から住民の生命の安全を確保するため、災害危険区域内に居住する人に対して、補助金を交付し、危険住宅からの移転を促進する。

### ■事業対象住宅(危険住宅)

次の(1)から(3)のいずれかの区域に存する既存不適格住宅又は(1)から(5)のいずれかの区域に存する住宅のうち、災害等により市が移転勧告、是正勧告、避難勧告、避難指示等を行ったもので、がけ地の崩壊等による危険が著しいもの。

- (1) 災害危険区域(急傾斜地崩壊危険区域)
- (2) がけ条例により建築を制限している区域
- (3) 土砂災害特別警戒区域(通称レッドゾーン)
- (4) 土砂災害特別警戒区域(通称レッドゾーン)に指定される見込みのある区域
- (5) 事業着手時点で過去3年間に災害救助法の適用を受けた区域

### ■補助金交付要件

これまで住んでいた住宅を除却し、跡地に住宅等を建築しないこと。

### ■補助対象経費・補助限度額

経費	経費の内容	補助限度額
除却等費	危険住宅の撤去、動産の移転、仮住居、跡地整備費等に要する経費	除却費:木造33千円/m <sup>2</sup> 、非木造47千円/m <sup>2</sup> 引越し等に要する費用: 1戸あたり97万5千円
建物助成費	危険住宅に代わる住宅の建設、購入及び改修をするために要する資金を金融機関等から借り入れた場合において、当該借入金金利子に相当する額の経費	1戸当たり421万円 (建物325万円、土地96万円) ※特殊土壌地帯 1戸当たり731万8千円 (建物465万円、土地206万円、敷地造成60万8千円)

### ■令和7年度時点の取組進捗状況

令和7年度において、令和7年12月末時点で、補助金交付:1件である。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
がけ地近接等危険住宅移転事業	補助金交付	R7時点	-----	-----> 目標

## 新規 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策

止水板設置補助

熊本市

〇大雨による浸水被害の防止・軽減のため、住宅や事業所等に設置する止水板に対して補助を行う。

### ■取組内容の説明

・令和7年8月豪雨において、熊本市内では内水氾濫によって戸建住宅宅、マンション、店舗などで甚大な浸水被害が生じた。想定を超える豪雨の際には、行政によるハード対策では限界があるため、自助の観点で浸水被害を防止・軽減させる対策が求められた。

#### 【対象地域】

- ・過去に浸水被害があった地域
- ・ハザードマップや内水浸水想定図で浸水の恐れがある地域

#### 【補助対象】

- ・戸建住宅・マンション・店舗・事務所など対象となる建物を所有している方、または所有者の同意を得た方
- ・建物等に止水板を設置する工事及びそれに伴う関連工事
- ・建物等に設置する止水板であって設置工事を要しないものを購入するもの(市販品に限る)

#### 【補助金額】

- ・止水板設置工事(止水板及び関連工事)ならびに止水板の購入に要した費用の2分の1(千円未満切り捨て、上限50万円)

雨の多い現代だから  
**止水板等設置補助金**  
あなたの財産を守りませんか  
上限50万円  
止水板の購入費・設置工事費  
**1/2を助成します**

補助対象  
● 止水板の購入  
● 止水板設置および関連工事

対象  
● 浸水被害が発生した地域  
● 浸水のおそれがある家屋・事業所等  
※申請は所有者または所有者の同意を得た方

熊本市都市建設局土木部河川課(本庁13F)  
電話: 096-328-2571 詳しくは  
メール: kasan@city.kumamoto.lg.jp 熊本市 止水板等設置補助 | 検索

### ■令和7年度時点の取組進捗状況

令和7年度において、令和7年1月末時点で、申請受付:13件である。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
止水板設置補助	補助金交付	R7時点	-----	-----> 目標

# 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

くまもと「水」検定

熊本市

- 地下水の仕組みや水に関する歴史・文化などを楽しく学び、地下水保全を担う人材育成や「地下水都市熊本」の魅力づくりにつなげていくことを目的に、「水」に関するご当地検定として『くまもと「水」検定』を実施している。
- 「流域治水」の周知を図るため、令和5年度から流域治水の説明等を盛り込んだ問題を出題している。

## ■取組内容の説明

- ・平成20年度から開始した全国初の「水」に関するご当地検定
- ・1～3級を設定し、誰でも受験することが可能(受験料無料)
- ・合格者には1～3級に応じた色の認定証を交付 ※1
- ・小・中・高等学校を中心に出席講座や団体受検の推奨も実施



※1 認定証(1級:ゴールド、2級:シルバー、3級:ブルー)

### 第15回くまもと「水」検定3級試験問題

問25

熊本市では降った雨を地下に浸透させる「雨水浸透ます」や雨水を貯めて洗車や庭の水やり利用する「」の購入・設置に補助金を交付している。これらは流域治水として防災にもつながる。に入る言葉は？

※流域治水・・・大雨による災害が多く発生する中で、川だけでなく、雨水が川に集まってくる地域や、川があふれ住宅などが水につきりそうな川の近くの地域も一緒に、みんな(国・県・市町村・企業・住民など)で協力して水災害対策を行うという考え方。

ア 水害対策タンク イ 雨水貯留タンク ウ 治水タンク

## ■令和7年度時点の取組進捗状況

令和7年度までに1～3級を約69千人が受験し、約58千人が合格

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域治水の情報発信	くまもと「水」検定	R7時点	→	目標

# 継続 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水流出抑制

熊本市

- 一定規模以上(5000㎡)の開発行為に対する雨水貯留施設(調整池)の設置を推進
- 一定規模以上(1000㎡)の開発行為に対する雨水浸透ます設置を推進
- 透水性舗装を推進

## ■熊本市での設置例

■ 開発区域の面積5,000㎡以上



5,000㎡以上の開発行為に対する調整池の設置例

■ 開発区域の面積5,000㎡未満



1,000㎡以上の開発行為に対する新設道路内、雨水浸透枳の設置例

■ 敷地内からの雨水流出抑制対策透水性舗装等を推進



駐車場内の透水性舗装施工例

## ■令和7年度時点の取組進捗状況

開発行為申請に対し雨水流出抑制指導を行っている。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
雨水流出抑制	調整池、浸透施設の指導	R7時点	→	目標

# 継続 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

熊本市ハザードマップ等を活用した情報発信

熊本市

- 熊本市ハザードマップのスマートフォン版を令和3年4月から本格運用、紙版については令和3年3月に全戸配布
- 熊本市防災情報ポータルを更新し、避難所の混雑状況や避難ルートも閲覧可能になった。
- 上記システムの活用については、出水期前に本市広報誌及びマスメディアを活用して周知啓発を行った

## ■取組内容の説明



出水期前に市政だより(6月号)で重点的に広報

スマートフォンで簡単に確認できるように改良

混雑情報も分かるように改良

## ■令和7年度時点の取組進捗状況

熊本市ハザードマップ(スマートフォン版、紙版)の作成・運用、熊本市防災情報ポータルの更新、出水期前の積極的な周知啓発

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
出水期に向けた防災周知啓発	防災システム等の周知啓発	R7時点	目標	目標

# 継続 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

内水浸水想定区域図の公表

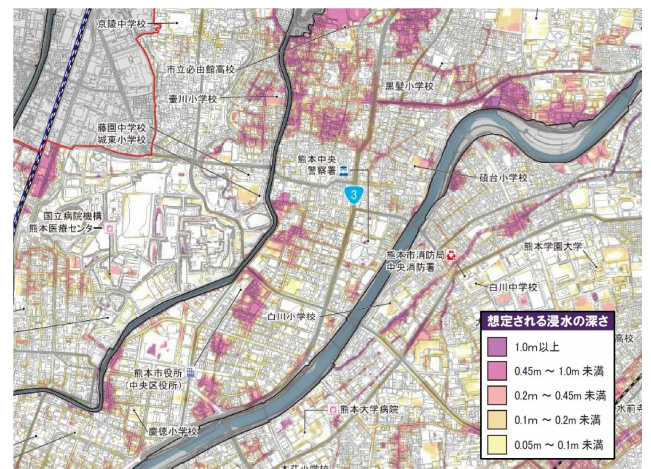
熊本市

- 令和6年10月、本市ホームページ上に内水浸水想定区域図を公表。
- 内水氾濫による浸水区域や浸水の深さ等、住民の避難や防災行動に繋がる情報を提供することで、浸水被害の最小化を図る。

## ■取組内容の説明

・今回作成したマップは、想定最大規模の大雨があった際、水路や雨水管から雨水が溢れて内水氾濫が発生した場合に想定される浸水区域や浸水深等を浸水シミュレーションで確認し図化したもの。

項目	内水浸水想定区域図の概要
作成範囲	熊本市下水道計画区域(雨水) 10,796ha
降雨条件	1時間雨量153mm ※九州北西部地区の想定最大規模降雨
河川の水位	計画高水位 又は 吐口周辺の最低堤防高 ※外水氾濫は考慮しない。
浸水シミュレーションの計算手法	簡易モデル(管渠モデル省略) ※水路情報や浸水実績から各排水区の排水能力を設定した解析モデルを作成。



内水浸水想定区域図(中央区) 抜粋

## ■令和7年度時点の取組進捗状況

継続して本市ホームページ上に内水浸水想定区域図を掲載し、周知・啓発等を実施した。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
避難体制等の強化	内水浸水想定区域図の公表	R7時点	目標	目標

## ■ 1) ⑤防災情報の提供【平常時の情報】 【熊本市】

- 想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、津波、高潮等を踏まえたハザードマップ及び避難計画の見直し

- 阿蘇立野ダム完成に伴い、市ウェブ版のハザードマップを更新した。
- 河川沿いなど早期避難が必要な地域を新たに表示する機能を追加した。



熊本市ハザードマップ

## ■ 1) ①水防学習・教育の推進【熊本市】

- 防災に関する継続性のあるイベント等の企画、実施

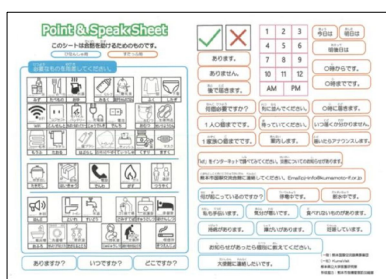
- 令和7年7月6日に熊本市北区のフードパル熊本で外国人と地元住民がスポーツを通して交流し、防災について学ぶイベントを開催した。

北区の西里校区では、増加する外国人と小学生や保護者を含む地域住民が交流し、互いの文化理解を深めながら、災害時に支え合える関係づくりを目的とした防災交流イベントを開催した。

会場のフードパル熊本に約70名が参加。モルックを楽しんだ後に、日本の自然災害を学ぶ防災講話や、ハラル認証の防災食の試食などを通して、多文化共生を進めながら災害への備えについて学びを深めた。

- 1 対象 西里校区の小学生・保護者を含む住民と外国人
- 2 内容
  - ①スポーツ交流(モルック) ②自然災害を学ぶ講話 ③避難所や指差しシートの説明
  - ④外国人向け119番通報の要領説明 ⑤防災食の試食 ⑥意見交換会

- 3 関係機関 北部まちづくりセンター、北区役所総務企画課、西里校区体育協会



↑ 北区の全指定避難所に外国人向けの指差しシートを設置 (避難所初動運営キットに常備)

### ■ 3) ②避難行動を支援するハード整備【熊本市】

#### ■ 浸水時において確実な避難に資するため、避難経路の安全対策、検討、整備【個人住宅・マンション・店舗等が設置する止水板に対する補助金交付制度を制定】

○令和8年1月22日から「止水板等設置補助金」を開始した。

対象は過去に浸水被害が発生した地域やハザードマップ等で浸水の恐れがある家屋等とし、止水板の購入や設置工事等の費用の1/2（上限50万円）を助成している。

雨の多い現代だから  
**止水板等  
設置補助金**  
浸水から  
あなたの財産を  
守りませんか  
上限  
50万円  
止水板の購入費・設置工事費  
**1/2を助成します**

**補助対象**

- 止水板の購入
- 止水板設置および関連工事

**対象**

- 浸水被害が発生した地域
- 浸水のおそれがある家屋・事業所等
- ※申請は所有者または所有者の同意を得た方

熊本市都市建設局土木部河川課（本庁13F）  
電話：096-328-2571 詳しくは  
メール：kasen@city.kumamoto.lg.jp  
熊本市 止水板等設置補助 で検索

止水板等設置補助金チラシ



止水板（持ち運びタイプ）イメージ



止水板（建具タイプ）イメージ

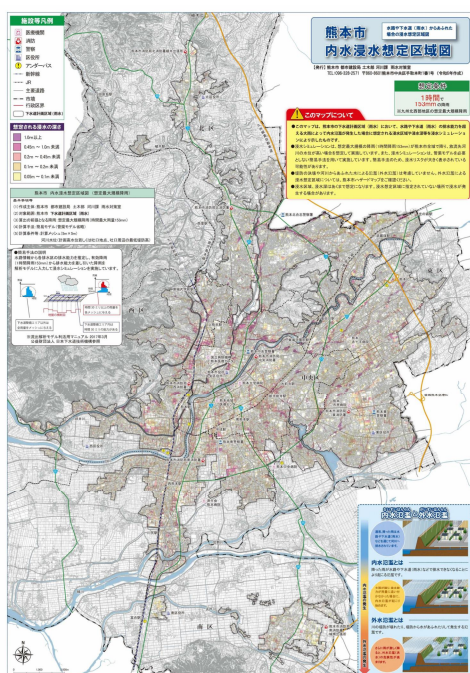
#### 【参考】

令和8年1月末時点で約13件の申請を受け付けている  
（補助額は約2百万を見込んでいる）

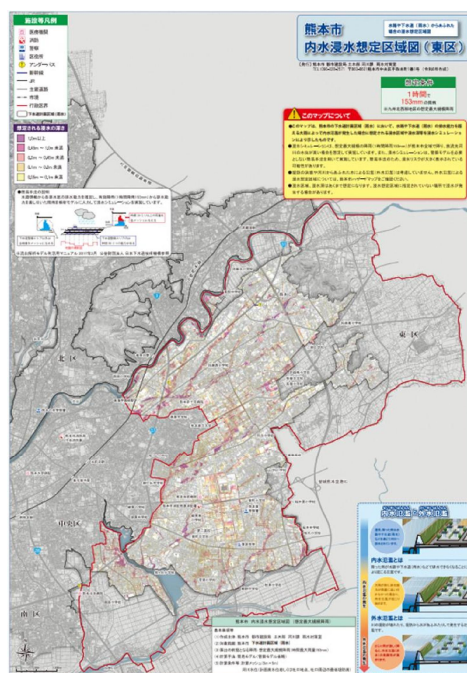
### ■ 1) ⑤防災情報の提供【平常時の情報】【熊本市】

#### ■ 想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、津波、高潮等を踏まえたハザードマップ及び避難計画の見直し

○熊本市下水道計画区域を対象に、想定される最大規模の降雨(153mm/1時間)によって「内水氾濫」が発生した場合の浸水範囲や浸水深さなどをマップ化（内水浸水想定区域図）し、令和6年10月にホームページに公開している。



内水浸水想定区域図（各区統合版）

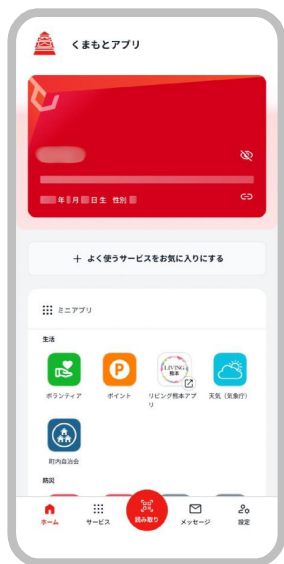


内水浸水想定区域図（東区）

# ■ 1) ⑥防災情報の提供【災害時の情報】 【熊本市】

- 様々な情報提供ツール(SNS等)を活用した防災情報やリアルタイム情報の提供  
災害時には、市防災情報ポータル、エリアメール、市公式LINEやX(エックス)、防災行政無線、くまもとアプリなどを活用して市民へのリアルタイムな情報提供を行っている

○令和6年3月27日に「くまもとアプリ」の運用を開始した。  
平時はアプリ上で地域活動やボランティア活動等の参加者に対してインセンティブとなるポイントの付与および活動証明書を発行し、地域活動やボランティア活動等の活性化につなげる。  
災害時は避難所受付や災害ボランティアの受け入れ等に活用し、より良い被災者支援につなげる。



## 主な機能



### ✓ ボランティアへの参加

地域活動やボランティア活動を手軽に検索し、アプリから参加申込をスムーズに行うことができる。



### ✓ ボランティアの主催（マイナンバーカード連携必須）

くまもとポイント付与対象となる地域活動やボランティア活動の作成や管理を行うことができる。



### ✓ ポイントを貯める（マイナンバーカード連携必須）

地域活動やボランティア活動への参加実績に応じてくまもとポイントが付与され、ポイントはアプリ内抽選会への応募に使用可能。また、電子クーポンへの交換もできるよう準備中。



### ✓ 避難情報の提供・避難所での受付

事前に自分の情報などを登録しておく、災害時の避難所受付がスムーズ行える。

# ■ 1) ⑦水害時の適切な避難行動 【熊本市】

- 地区の住民が主体となった地区防災計画の作成及び避難訓練の検討、実施

○地域住民が主体となる「地区防災計画」作りと合わせ、防災マップを作成している。

## 画図校区防災の取組

地域名：東区画図校区

### 1 地域の概要

- 【地域人口】 14,196人（男：6,696人 女：7,500人）
- 【世帯数】 6,364世帯
- 【高齢化率】 27%（65歳以上）
- 【地勢的な特徴】 東区の南西部に位置し、嘉島町と隣接しており、北側に遠藤東バイパスが、西側に遠藤浜線バイパスの2本の主要幹線道路が通っている。北東部には上江津波、下江津波があり、南東部は木山川と加勢川が合流し、南を流れている。
- 【想定される災害】 北甘木断層・水前寺断層による「地震」、加勢川・秋津川や内水氾濫等による「水害」の災害リスクが高い。
- 【その他】 指定避難所として、画図小学校・環境総合センターがある。



### 2 これまで地域で取り組んできたこと

#### (1) 今までの取組

- 平成30年7月 画図校区防災連絡会設立  
画図小学校・環境総合センター避難所運営委員会設立
- 令和5年11月 託麻南小学校避難所運営委員会防災訓練視察
- 令和6年3月 画図小学校で校区防災訓練実施  
7月 HUG（避難所運営ゲーム）体験会実施  
9月 地区防災計画策定着手  
12月 避難所開設・運営マニュアル完成
- 令和7年2月 地区防災計画策定  
9月 画図校区2町内で民生委員児童委員による防災講座  
10月 画図校区11町内「地区防災計画」フォローアップ研修



## (2) 画図校区地区防災計画

### ◆ 東区で3つ目となる地区防災計画策定

画図校区の地区防災計画は、【記録編】と【防災マップ・校区ルール】の2つを基本とした構成である。【防災マップ・校区ルール】には、校区内の危険箇所だけでなく、情報収集用二次元バーコードを記載し、災害時など情報収集に活用していただけるものとなっている。裏面には「やることリスト」と「マイタイムライン」が掲載されている。これを全世帯に配布し、校区の今後の事業計画の共有や住民の防災意識向上を図っている。

熊本市防災会議の承認を得て、熊本市地域防災計画に位置付けられている東区内3事例目の地区防災計画であり、熊本市のホームページにも紹介している。



### ◆ 「作って終わりではない」11町内でフォローアップ研修開催

策定翌年度の令和7年(2025年)10月24日に、11町内自主防災クラブが、早速「地区防災計画」フォローアップ研修を開催した。

校区防災連絡会会長も務める久保田自主防災クラブ会長は、『地区防災計画は作っただけでは意味がない。『やることリスト』に基づいて、実際に取り組むところまでやっていかなくてはならない。』という意向のもと、まずは自身の町内をモデルとし、住民との意見交換の場を設けた。令和7年8月豪雨の際に明らかになった地域の課題などを各町に分かれて共有し、実施すべき対策の優先順位を定めた。

結果、11町内が次年度に取り組む『やることリスト』として、『日ごろからコミュニケーションを深めていくこと』とし、まずは『回覧版を回す範囲』から取り組んでいく予定である。

東海大学生の協力のもと、地域住民で「くまもとアプリ」をダウンロードし、自ら防災情報を入手する意識づけも行った。



# 【玉名市】

## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

ICTを活用した河川情報の充実

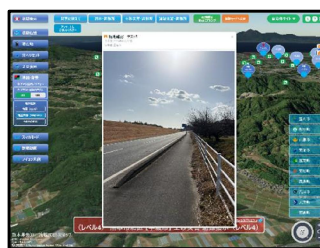
玉名市

○令和5年9月4日から、防災・災害情報を迅速、的確に届けるため、熊本県の「令和5年度DX実証事業」を活用して、菊池川流域の防災・災害情報を確認できる「熊本県菊池川流域3D防災マップ」の提供(実証)を開始した。  
 ○令和7年9月8日から、流域全体の防災力向上のため、国土交通省の「都市空間情報デジタル基盤構築支援事業」を活用して、スマートフォン対応で外出先でも菊池川流域の防災・災害情報を確認できる「スマート防災ポータル-菊池川流域治水プロジェクト2.0-」に名称変更し、バージョンアップした。

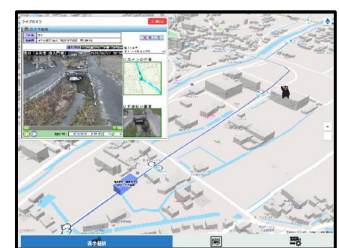
### 取組内容の説明



システム構成図



・3D防災マップ  
 3D空間/3D地形に、各種防災情報閲覧機能、**参画10自治体**の防災情報、国、県の防災情報リンク機能を提供。画像・映像アップロード閲覧機能追加。



・3Dモビリティマップ  
 スマホフレンドリーの3D空間の構築。公共交通（バス）運行情報の提供し、平常利用から、防災時の利用までの環境を実現。

スマート防災ポータル <https://3dbousai.4dlink.com/kumamoto/pc/top>

### 令和7年度時点の取組進捗状況

菊池川流域の防災・災害情報を確認できる「スマート防災ポータル-菊池川流域治水プロジェクト2.0-」の提供中(実証中)。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
災害リスク情報の充実	スマート防災ポータルを活用した、情報発信の強化			

## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策

玉名市立地適正化計画の運用(防災指針の追加を含む)

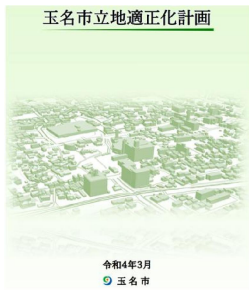
玉名市

- 立地適正化計画の策定(防災指針の追加を含む)により、災害リスクを考慮した安全なまちづくりを進める。
- 災害リスク情報(浸水想定区域等)を活用した居住誘導区域の検討。
- 居住誘導区域内外では、「防災指針」に基づく、防災・減災対策を検討。

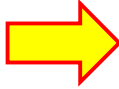
### ■R7年度の取組内容、進捗状況

令和4年度に、立地適正化計画の策定(防災指針の追加を含む)を行い、令和4年6月1日に公表。【策定(令和4年3月31日)】

☞玉名市立地適正化計画<https://www.city.tamana.lg.jp/q/aview/507/21471.html>



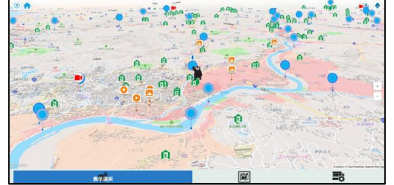
防災指針  
ソフト対策



学童クラブにおける防災講話での活用



防災行事での体験会にて活用  
(岱明防災コミュニティセンター)



スマート防災ポータルサイトの活用および周知(広域自治体連携)

☞3D都市モデルを活用したソフト対策<https://www.city.tamana.lg.jp/q/aview/118/25241.html>

☞スマート防災ポータル<https://3dbousai.4dlink.com/kumamoto/pc/top>

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫	立地適正化計画の運用(防災指針の追加を含む)	R7時点 → 目標		

### ■令和7年度の取組

- 立地適正化計画の進捗管理(防災指針の進捗管理を含む)により、災害リスクを考慮した安全なまちづくりを進める。
- 居住誘導区域内外では、「防災指針」に基づく、防災・減災対策の実施。
- 構築した3D避難シミュレーションVRの貸出による防災教育の充実。



## 新規 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

雨水出水浸水想定区域図の公表

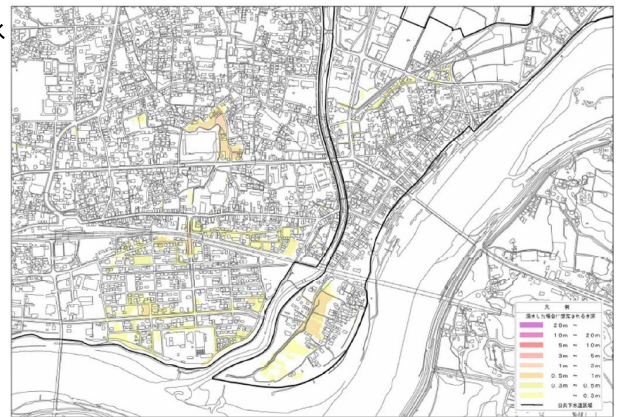
玉名市

- 本市ホームページ上に雨水出水浸水想定区域図を公表
- 内水氾濫による浸水区域や浸水の深さ等、住民の避難や防災行動に繋がる情報を提供することで、浸水被害の最小化を図る。

### ■取組内容の説明

今回作成したマップは、想定最大規模の大雨が降った際に、水路や雨水管から雨水が溢れて排除できなくなった場合に浸水が想定される区域

項目	雨水出水浸水想定区域図
作業範囲	雨水事業計画区域(玉名処理区)828ha
降雨条件	1時間雨量153mm ※九州北西部地区の想定最大規模降雨
河川水位	既往最大降雨時における水位波形を基に最大水位が各吐口の堤防高になるように補正 ※外水氾濫は考慮しない
浸水シミュレーションの計算方法	詳細モデル (降雨+流出+管きよ+氾濫) ※降雨損失、表面流出、管内水理、氾濫解析から一連の解析を実施



### ■令和7年度時点の取組進捗状況の取組

○本市のホームページ上に雨水出る浸水想定区域図の公表。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
土地の水害リスク情報の充実	雨水出水浸水想定区域図の公表	完了		

## 継続 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

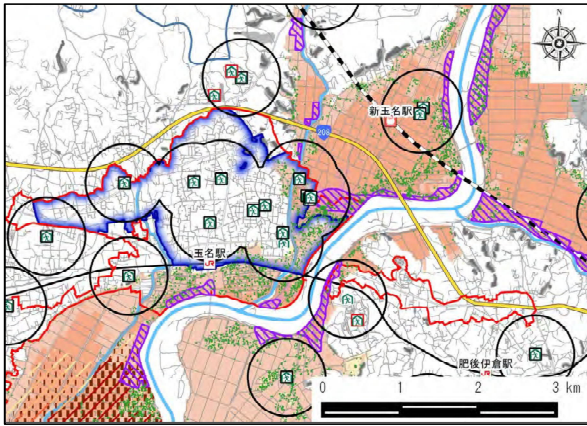
被害対象を減少させるための対策

立地適正化計画の策定(防災指針の追加を含む)

玉名市

- 立地適正化計画の策定(防災指針の追加を含む)により、災害リスクを考慮した安全なまちづくりを進める。
- 災害リスク情報(浸水想定区域等)を活用した居住誘導区域の検討。
- 居住誘導区域内では、「防災指針」に基づく、防災・減災対策を検討。

### 取組内容の説明



立地適正化計画において、現段階で計画規模の浸水想定区域に居住を誘導することは望ましくないとの判断から、**計画規模の浸水想定区域は居住誘導区域外とする**とともに、周辺整備にあたっては「嵩上げ等により洪水の被害を受けにくい拠点形成を目指す」。

凡例		
用途地域界	浸水想定区域(想定最大規模)	津波浸水区域
居住誘導区域	1.0m未満	0.3m未満
避難所 500m圏域	1.0m~3.0m未満	0.3m~1.0m未満
指定緊急避難場所	3.0m~5.0m未満	1.0m~2.0m未満
一次避難所	5.0m以上	2.0m~3.0m未満
二次以降の避難所	高潮想定区域	3.0m以上
土砂災害警戒区域	0.5m未満	氾濫流
土砂災害特別警戒区域	0.5m~1.0m未満	● 垂直避難が困難な建物
	1.0m~2.0m未満	
	2.0m~5.0m未満	

### 令和7年度時点の取組進捗状況

令和4年6月1日に立地適正化計画(防災指針を含む)を公表し、実行した。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの方の工夫	立地適正化計画の策定(防災指針の追加を含む)	R7時点		目標

## 継続 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

防災行政無線、SNS等を活用し多様な手段での防災情報の発信

玉名市

- 防災行政無線のほか、SNS等を活用した、防災情報の配信を行い、多様な手段で防災情報が取得できるよう、取り組みを行っている。

### 取組内容の説明

防災メール・防災無線のほか、LINE等のSNSを活用し、防災情報の配信を行っている。

### 令和7年度時点の取組進捗状況

放送障害・情報格差解消策として、取得困難者に防災戸別受信機の無償貸与を実施中。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
土地の水災害リスク情報の充実	防災メール・防災行政無線・SNS等を活用した、情報発信の強化	R7時点		目標

# 継続 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

防災まち歩き地域ワーキング

玉名市

○指定避難所までのルートを確認し、危険な箇所や気づきについて対話しながら歩き、防災のポイントについて地区の方と確認。  
○早めの避難の重要性等について、再認識を図った。

## ■取組内容の説明



**皆様からの主な意見**

- 浄化センター前は地盤が低く、水がたまりやすい
- 歩道と車道との段差や縁石は冠水時につまずく恐れ
- 避難の際は、JR線を横断する必要があり、アンダーパス等が浸水する前に早めの避難が必要。

## ■令和7年度時点の取組進捗状況

令和7年度以降も実施希望等を調整し事業継続を行う予定。(令和7年度は未実施)

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害対策訓練の強化	まち歩き及び住民同士の意見交換	R7時点	→	目標

# 完了 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

ため池ハザードマップの作成

玉名市

○ハザードマップを作成し、地域住民に周知することで、被害の軽減を図る。

## ■取組内容の説明



### 山部田ため池ハザードマップ

●ハザードマップについて  
このマップは、山部田ため池の洪水想定により浸水する区域を、想定される浸水深に基づいて作成しています。浸水想定は、過去の洪水実績や地形、地質、河川等の状況を踏まえ、科学的に推定されたものです。浸水想定はあくまで目安であり、実際の浸水状況は、実際の降雨量や河川の状況によって異なります。また、浸水想定は、浸水想定区域の範囲を示すものであり、浸水想定区域の外でも浸水する可能性があります。浸水想定区域の範囲は、浸水想定区域の範囲を示すものであり、浸水想定区域の外でも浸水する可能性があります。

●浸水の危険・入手経路  
浸水の危険は、浸水想定区域の範囲を示すものであり、浸水想定区域の外でも浸水する可能性があります。浸水想定区域の範囲は、浸水想定区域の範囲を示すものであり、浸水想定区域の外でも浸水する可能性があります。

●浸水の危険・入手経路  
浸水の危険は、浸水想定区域の範囲を示すものであり、浸水想定区域の外でも浸水する可能性があります。浸水想定区域の範囲は、浸水想定区域の範囲を示すものであり、浸水想定区域の外でも浸水する可能性があります。

●浸水の危険・入手経路  
浸水の危険は、浸水想定区域の範囲を示すものであり、浸水想定区域の外でも浸水する可能性があります。浸水想定区域の範囲は、浸水想定区域の範囲を示すものであり、浸水想定区域の外でも浸水する可能性があります。

## ■令和5年度時点の取組進捗状況

令和4年度までで33ヶ所のため池ハザードマップを作成済み。  
令和5年度で防災重点ため池全57ヶ所が作成完了。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
ハザードマップの作成	ため池ハザードマップの作成	完了		

## ■ 2) ③各自治体が広域的に連携できるための施設整備【玉名市】

### ■ 民間企業と連携した一時避難所の検討、整備

- 令和7年10月1日に東武トップツアーズと、災害支援に関する協定を結んだ。
- 被災者が一時避難する宿泊施設、他自治体の応援職員の滞在拠点や交通手段の確保で協力してもらおう。
- 平時の連携として防災運動会等のイベントへの協力してもらおう。



## ■ 1) ⑤防災情報の提供【平常時の情報】 【玉名市】

- 想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域及び時系列氾濫シミュレーションの策定、公表、ハザードマップポータルサイトへの公開及び避難計画の見直し(水位周知河川追加等の検討)

- 「熊本県菊池川流域3D防災マップ」が「スマート防災ポータル-菊池川流域治水プロジェクト2.0-」に名称変更し、バージョンアップした。
- 流域運用に向けて、現在10自治体が参画中



スマート防災ポータル  
トップ画面



3D防災マップ



3Dモビリティマップ

# 【山鹿市】

## 新規 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

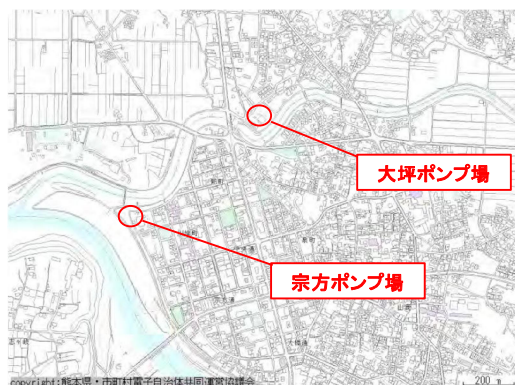
雨水ポンプ場に冠水監視カメラ及び水位通報装置を設置

山鹿市

○集中豪雨時にポンプ場の水位だけでなく、遠隔地から道路の冠水状況を映像で即座に確認することで、ポンプ起動や運転継続の判断をよりの確に行うことができる。

○カメラ映像を周辺住民に公開することで、道路の危険性をリアルタイムで察知し、適切な避難ルートを選択に役立てる。

### ■取組内容の説明



事業箇所



監視カメラ設置状況

### ■令和7年度時点の取組進捗状況

令和6年度に宗方ポンプ場に2基、令和7年度に大坪ポンプ場に1基の監視カメラを設置完了。

令和7年度に宗方ポンプ場に水位通報装置を設置完了。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
内水氾濫対策	監視カメラ及び水位通報設備の設置	完了		

## 新規 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河床掘削による氾濫抑止対策

山鹿市

○河川の氾濫抑止対策として、河床に堆積した土砂の撤去を進めていく。

着工前



完了後



### 令和7年度時点の取組進捗状況

市管理河川のうち、11箇所での河床掘削を実施した。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河川の氾濫抑止対策	河床掘削			

## 新規 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

ため池の整備補修等

山鹿市

○氾濫による被害を軽減するため、雨水の流出抑止対策として、農業用ため池の適正な管理により貯水施設としての維持保全を進めていく。



- ・防災重点ため池：142カ所
- ・その他ため池：90カ所

○ため池管理者からの申請により、整備補修等を計画的に実施していく。

### 令和7年度時点の取組進捗状況

市内に点在する農業用ため池について、整備補修等を実施していく。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能の向上	ため池の維持保全			

## 継続 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

防災まち歩き地域ワーキング

山鹿市

- 避難場所までの危険箇所を洗い出し、新たな気づきを住民同士で共有できた。
- 浸水エリアを理解し、早めの避難の重要性を認識できた。

### ■取組内容の説明

想定浸水深の確認(恵荘)



注意ポイント(水路の開口部)



注意ポイント(歩道との落差)



#### ○まち歩きする上での着目点

- ・あふれた水がたまりそうな地形でないか？
- ・坂などで水の流れる速くなる地形でないか？
- ・高齢者や足の不自由な方も歩けるか？
- ・夜でもスムーズに歩けるか？
- ・一時的に避難できる施設はないか？
- ・どのタイミングで避難を始めるとよいか？



#### いざというときに安全に避難するために大事なこと

- ・洪水が起こる前にすばやく避難すること
- ・避難の判断材料として、正確な情報や過去の被災経験を活用すること
- ・日ごろから住民同士で声を掛け合い、防災の輪を広げること

### ■令和6年度時点の取組進捗状況

令和6年6月に市内で浸水歴のある宗方地区で実施済み。  
令和7年度以降も他地域の浸水エリアにおいても避難場所までのまち歩きを実施予定。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害対策訓練の強化	まち歩き及び住民同士の意見交換	R7時点	目標	目標

## 継続 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

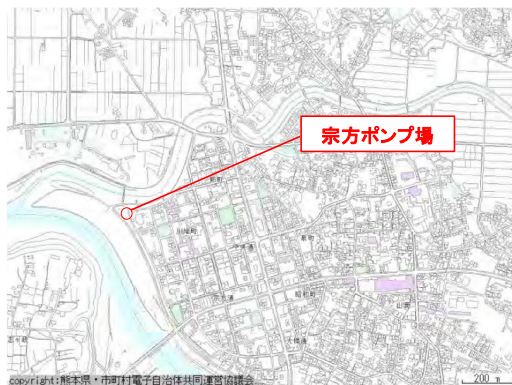
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水ポンプ場の更新

山鹿市

- 内水被害の解消に向けた設備の維持を目的として、菊池川と吉田川合流部に位置する宗方ポンプ場において老朽化に伴う揚水ポンプの更新を実施。

### ■取組内容の説明



事業箇所



ポンプ本体・原動機・減速機等2基の更新

### ■令和7年度時点の取組進捗状況

令和3年度から5年度まででポンプ2基の更新を完了した。さらに、令和9年度にポンプ1基の更新と1基の増設の設計を行い、令和10年度から3箇年で工事を予定している。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
内水氾濫対策	雨水ポンプの更新	R7時点	目標	目標

# 完了 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

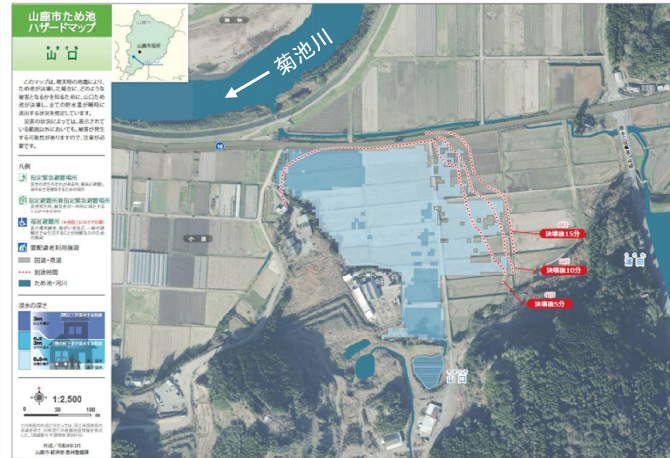
ため池ハザードマップの作成

山鹿市

○ハザードマップを作成し、地域住民に周知することで、被害の軽減を図る。

## ■取組内容の説明

山口ため池(小原地区)



### 山鹿市ため池ハザードマップ

このマップは、被災時の浸水により、ため池が決壊した場合には想定される浸水範囲を示すとともに、ため池が決壊した場合に想定される浸水範囲を示しています。

浸水範囲は、浸水想定位置から浸水範囲を想定しています。

浸水範囲は、浸水想定位置から浸水範囲を想定しています。

浸水範囲は、浸水想定位置から浸水範囲を想定しています。

### 状況に応じた避難をしよう

ため池決壊による浸水の浸水想定避難の流れ

0.5m未満

0.5m以上

浸水想定避難のイメージ

### ため池決壊について知ろう

ため池決壊の原因(地震と大雨)

ため池決壊と同時に発生するおそれがある災害

### 山鹿市民避難行動フロー

避難行動のイメージ

避難行動のイメージ

## ■令和6年度時点の取組進捗状況

令和5年度で現在指定されている防災重点ため池の全箇所(141箇所)作成が完了。(廃止予定2カ所除く)

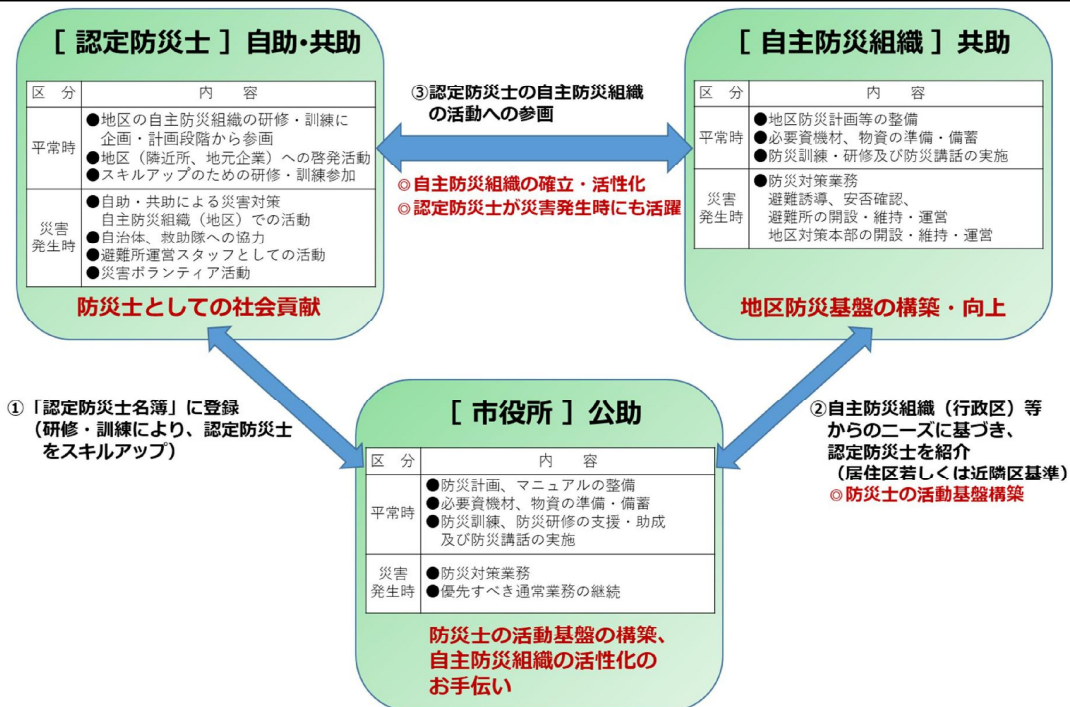
対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
ハザードマップの作成	ため池ハザードマップの作成	完了		

## ■ 1) ③災害発生を想定した事前準備【共助】【山鹿市】

### ■地域の防災リーダー育成の支援を実施

- 地域防災力の向上と災害発生時の共助促進を目的に、本年度から市役所が認定防災士と自主防災組織等の連携を橋渡しをする「市認定防災士制度」を開始、認定防災士として、14人が登録されている。
- 平常時に、地区の自主防災組織の研修や訓練に企画・計画段階から参加し、住民や企業への啓発活動に取り組む。
- 発災時は、自主防災組織と共に活動し、自治体や救助隊への協力、避難所運営等を想定している。

[概要]



## ■ 1) ⑤防災情報の提供【平常時の情報】 【山鹿市】

- 想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、津波、高潮等を踏まえたハザードマップ及び避難計画の見直し

○令和7年3月に浸水想定区域、土砂災害警戒区域、内水浸水想定区域、避難場所等を記載した地域別ハザードマップを作成し、市内全戸に配布した。

○やまがデジタルマップ（公開型GIS）においても運用している。



○山鹿市内を流域とする菊池川水系等について、国や熊本県が公表する最新の浸水想定区域、熊本県により区域指定された最新の土砂災害（特別）警戒区域に基づき、既存の「山鹿市総合防災マップ（2017年3月発行）」の更新を行ったもので、各種防災の情報をより分かりやすく収録し地域防災力の向上を図ることを目的として作成した。

○また、災害時の持ち運びや、平常時の家庭内での話し合いにも活用しやすいよう、実効性に優れた地域別のハザードマップとした。

## 【菊池市】

# 新規 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

防災まち歩き地域ワーキング

菊池市

○指定避難所までのルートを確認し、危険な箇所や気づきについて対話しながら歩き、防災のポイントについて地区の方と確認。  
○浸水想定区域の周知看板の解説、危険箇所の確認等を実施し、避難の重要性等について再認識を図った。

## 取組内容の説明



皆様からの主な意見

- 道路と水路の間に柵や目印等が必要
- 地区内の避難所(戸崎支館、戸崎小学校)は、浸水想定区域に位置しているため、大雨の際は地区外への避難が必要

## 令和7年度時点の取組進捗状況

令和7年度以降も出前講座等により事業継続を行う予定。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水災害対策訓練の強化	まち歩き及び住民同士の意見交換	R7時点	目標	目標

# 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河川改修工事及び雨水調整池の整備

菊池市

○氾濫による被害を軽減するため、雨水の流出抑止対策として、松尾川河川改修工事と併せて、雨水調整池の整備を行う。

## 取組内容の説明



## 令和7年度時点の取組進捗状況

平成29年度～令和6年度にかけて松尾川河川改修工事が完了した。令和7年度に調整池整備工事を実施中。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
雨水流出抑制	調整池の整備	R7時点	目標	

## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

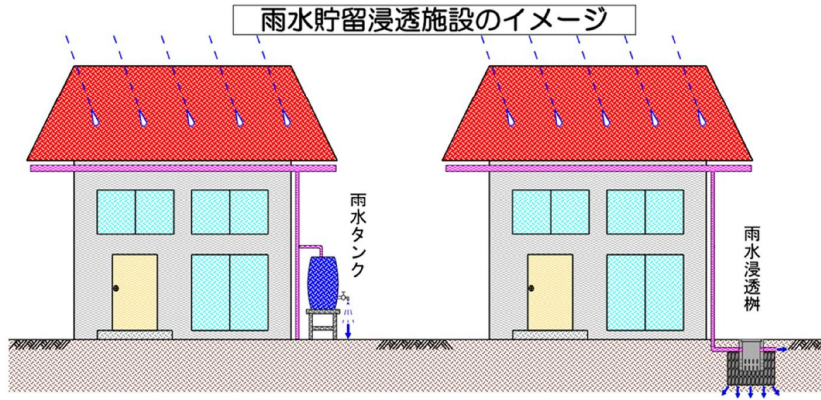
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河川等への流出を抑制する雨水貯留浸透施設の設置

菊池市

○熊本県菊池市において、住宅等の屋根に降った雨水を一時的に貯留、又は地下に浸透させて、河川・道路等への流出を減らしたり、流出するまでの時間を遅らせることにより、河川への流出を抑制し、道路等の冠水被害を軽減する雨水浸透ますや雨水タンクの設置補助を実施。

### ■取組内容の説明



雨水タンク



雨水浸透ます

### ■令和6年度実績及び令和7年度(令和8年1月末時点)の取組進捗状況

令和6年度の雨水貯留浸透施設設置補助申請件数 雨水浸透ます2件(8基)、雨水タンク0件  
 令和7年度の雨水貯留浸透施設設置補助申請件数 雨水浸透ます1件(4基)、雨水タンク3件(3基)

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能の向上	雨水浸透ます、浸透官の設置推進	R7時点	-----	----- 目標

## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

内水氾濫対策

菊池市

○平成24年九州北部豪雨により、菊池市赤星地区では、家屋の浸水被害が発生した。災害防止のため、緊急時に排水ポンプを設置し、赤星地区内の排水を行う。

### ■取組内容の説明



### ■令和7年度時点の取組進捗状況

令和4年度にポンプ及び発電機を購入し、令和6年度には排水機場の工事が完了した。令和7年8月の大雨時には、ポンプを稼働し内水氾濫を予防できた。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
内水氾濫対策	排水ポンプ施設等整備	R7時点	-----	----- 目標

# 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

防災行政無線・「きくち防災・行政ナビ」等による情報発信の充実

菊池市

○防災行政無線・「きくち防災・行政ナビ」・「菊池安心メール」・戸別受信機等、複数の手段で災害・火災・防犯・交通の他、お悔みなど各種行政情報についても発信し、住民がいつでも・どこでも確実に情報を入手できるように整備。併せて、各行政区の区長へタブレット端末を配布し、災害時における状況把握と道路陥没・倒木等の情報提供ツールとして配備。

## ■取組内容の説明

「きくち防災・行政ナビ」「菊池安心メール」を活用した情報発信

**きくち防災・行政ナビ 好評配信中!**

菊池市の情報を手軽にチェック

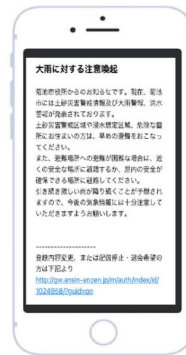
生活に役立つ情報の他、災害や火災などの緊急情報も、皆さんが普段お使いのスマートフォンやタブレット端末で受信できる無料のアプリケーションを配布しています。ぜひ、ダウンロードしてご利用ください!

きくち防災

Google Play / App Store

「キクチカラ」とは「菊池から」と「菊(か)の2つの意味を持つ愛称です。

「菊池安心メール」



インストール数

「きくち防災行政ナビ」

2025年12月	14,583件
2024年12月	11,554件
2023年12月	11,845件
2022年12月	10,679件
2021年12月	8,828件
※2024年4月にアプリを更新	

「菊池安心メール」

2025年12月	5,455件
2024年12月	5,350件
2023年12月	5,222件
2022年12月	4,845件
2021年12月	4,651件

## ■令和7年度時点の取組進捗状況

令和7年度も総合防災訓練・地区防災説明会・出前講座・各種イベントにて「きくち防災・行政ナビ」の普及啓発・登録支援を進めており、アプリインストール数も一定の水準を保っている。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
防災等情報発信の充実	防災行政無線・ナビ・メール等を活用した情報発信の充実			

## ■ 1) ①水防学習・教育の推進【菊池市】

### ■小中学校における水災害教育等の実施及び共通テキスト検討、作成、避難確保計画を作成、避難訓練を実施【小学校における水災害教育等の実施】

○令和7年9月6日に菊池市菊之池小学校で児童約300人で防災地図を作成した。地図作成に当たっては、小学校区の防災士や地域住民の助言により、行政区毎に作成、完成した地図は各公民館等に掲示した。子ども達の目線から見た地域の危険箇所を地域住民で情報共有し、今後の防災体制に活用していく。



## ■ 1) ①水防学習・教育の推進【菊池市】

### ■ 防災に関する継続性のあるイベント等の企画、実施 【各校区ごとに防災説明会を実施】

○出水期前の4月から6月上旬にかけて、区長・民生委員・消防団・防災士を対象として市内12ヶ所で防災説明会を実施し、合計で約500人の参加があった。

市の防災体制や避難方法、個人や地域での備えについて説明を行うとともに、意見交換を行った。

説明会は、防災意識の高揚と共に、市と地域との間で情報共有の貴重な機会となっている。



## ■ 1) ①水防学習・教育の推進【菊池市】

### ■ 防災に関する持続性のあるイベント等の企画、実施

○令和7年11月9日に菊池市の泗水孔子公園及び泗水公民館で、総合防災訓練を実施した。

近隣住民の避難訓練と消防・警察・自衛隊・消防団等の協力による、防災資機材の展示、AED操作、簡易担架作成、炊出しの他、避難所用屋内テントの住民による組立体験については、防災士が支援を行った。

当日は、雨天により内容を変更しての開催となったが、各団体との協力体制等の確認ができ、有意義な訓練となった。



## ■ 1) ⑦水害時の適切な避難行動 【菊池市】

### ■ 地区の住民が主体となったマイハザードマップの作成・支援及び避難訓練の検討、実施

#### ○防災まち歩き地域ワーキング

- ・日時 令和8年1月25日 10時～12時
- ・場所 菊池市上赤星区
- ・参加者 上赤星区住民約20名、菊池川河川事務所、熊本県、菊池市
- ・行程 上赤星区内のまち歩き（浸水想定周知看板の解説、危険箇所の確認等）  
⇒振り返り・水害体験のお話・意見交換

意見交換会において、「道路と水路の間に柵や目印等が必要」「地区外への避難が必要」といった意見があり、改めて地域での防災対策を見直す良い機会となった。



## 【玉東町】

## 継続 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

自然地の保全

玉東町

○氾濫による被害を軽減するため、雨水の流出抑止対策として、木葉山の森林保全、農地の適正な管理により涵養施設としての維持管理を進めていく。



- 山林の有する公益的機能による水質の維持向上を図るため、水源かん養林の維持を計画的に進めます。
- 新たな森林経営管理制度の運用により、適切な森林経営が行われていない森林の経営管理を林業経営体に集積・集約化を進めます。
- 身近な自然、生き物などに対する学習を通じて、住民の地球環境や自然環境に対する意識の向上を図り、持続可能な社会の実現を目指します。

### 令和6年度時点の取組進捗状況

自然地の保全箇所について、維持管理を実施している。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能の向上	自然地の保全	R6時点		目標

## 完了 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

防災調整池の整備

玉東町

○氾濫による被害を軽減するため、雨水の流出抑止対策として、木葉川河川改修工事と併せて、防災調整池の整備を行う。

### 取組内容の説明



平常時は、ふれあい広場として子供たちの遊び場として利用している。

### 令和4年度時点の取組進捗状況

社会資本整備総合交付金(当時は、まちづくり総合支援事業)を活用し、防災調整池の整備を平成18年に完了した。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域の雨水貯留機能の向上	防災調整池の整備	完了		

## ■ 1) ④災害発生を想定した事前準備【公助】【玉東町】

### ■ 市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)

○令和6年5月1日、役場新庁舎が完成。様々な災害に強い安全で強固な鉄筋コンクリート造りとなっている。また、発電機と蓄電池を兼ね揃えており、電力確保に関する不安を払拭。  
○庁舎3階には、災害時に災害対策本部としての機能を発揮できる大会議室を設けている。

#### ○令和6年5月に完成した役場新庁舎



#### ○災害対策本部機能

・平時



・災害時



## ■ 1) ④災害発生を想定した事前準備【公助】【玉東町】

### ■ 市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)

○令和8年3月、災害発生時の避難場所・救援活動拠点として防災ひろば(仮)が完成。  
トイレ、防災倉庫、かまどベンチ等を設置している。



# 【和水町】

## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

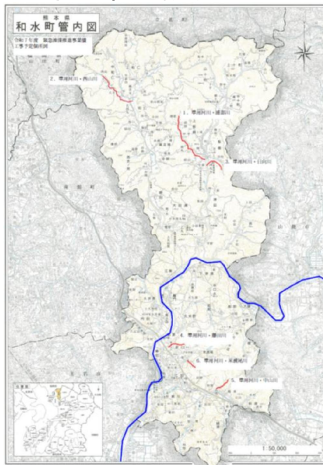
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河道掘削

和水町

○河道掘削を行い、浸水被害防止を図る。

### ■取組内容の説明



掘削予定位置図

- ・令和7年度までに、町内を流れる準用河川のうち17河川の堆積土砂掘削を計画。
- ・令和8年度に新たに1河川を計画に追加し、7河川の堆積土砂掘削を予定。

浦谷川の掘削状況（令和6年度実施）



整備前

浦谷川



整備後

浦谷川

### ■令和7年度時点の取組進捗状況

日向川他13河川の河道掘削を令和6年度までに完了している。  
浦部川他5河川の河道掘削を実施している。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河道掘削	河道掘削	R7時点	-----	目標

## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

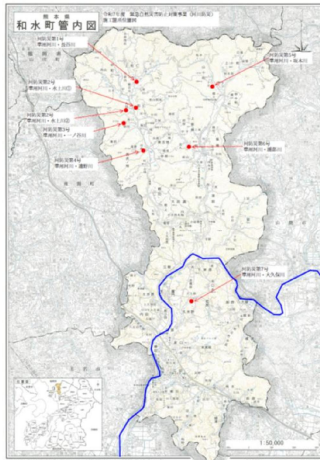
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

護岸整備

和水町

○護岸整備を行い、浸水被害防止を図る。

### ■取組内容の説明



護岸整備予定位置図

- ・令和6年度に、町内を流れる準用河川のうち8河川の護岸整備を実施。
  - ・令和7年度に、町内を流れる準用河川のうち7河川の護岸整備を実施。
  - ・令和8年度に、町内を流れる準用河川のうち5河川の護岸整備を計画。
- 坂本川の護岸整備状況(令和6年度実施)



整備前



整備後

### ■令和7年度時点の取組進捗状況

長谷川他7河川の護岸整備を令和6年度に完了している。  
長谷川他6河川の護岸整備を実施している。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河道掘削	河道掘削	R7時点	→	目標

## 完了 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

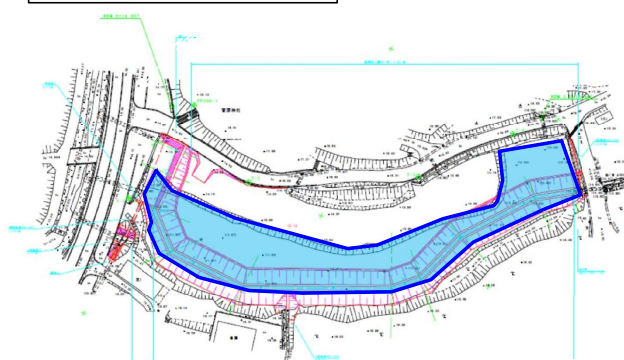
雨水排水施設等の整備、貯留池の事前放流

和水町

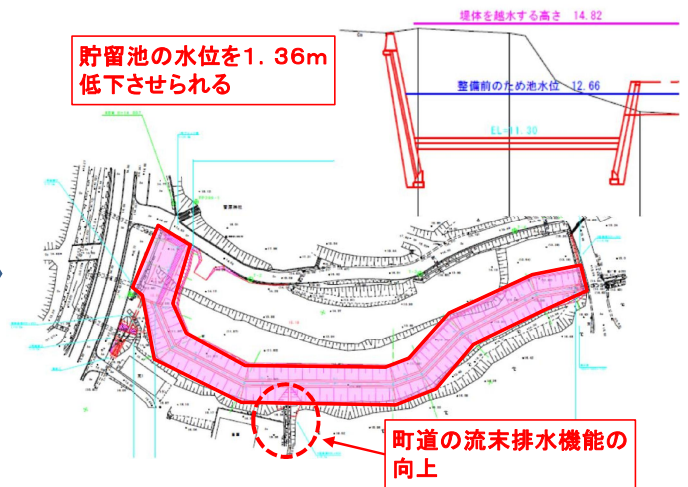
○大型水路を整備して、町道の流末排水機能を向上させることにより、道路・宅地の湛水被害を軽減させる。  
○貯留機能向上のため、ため池の貯留池、排水ゲートを整備することにより、出水期前に事前放流を行う。

### ■取組内容の説明

菊池川 内藤橋左岸付近



藤田地区



### ■令和6年度時点の取組進捗状況

排水施設整備工事を実施している。(令和6年度で整備完了)

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
ため池の補強・有効活用	雨水排水施設等の整備 貯留池の事前放流	R6時点		



## ■ 1) ③災害発生を想定した事前準備【共助】【和水町】

### ■地域の防災リーダー育成の支援を実施

○和水町では、本年度から防災士資格取得の費用を補助する「防災士育成事業補助金」を創設した。

報道資料

2025年11月17日  
和水町役場

**職員全員の防災士取得を目指して  
～災害に強いまちを支える「人」の育成～**

今年度から防災士育成事業補助金を創設し、防災士の資格取得に係る費用の全額を補助しています。今年度、町の若手職員を中心に約60名が防災士の取得を目指し、将来的には職員全員約125名が防災士資格を取得する取り組みを進めます。

和水町では、頻発する自然災害に備え、地域の防災力をさらに高めるため、全職員の防災士資格取得を目指す取組を今年度から実施しています。  
「自助・共助・公助」の精神のもと、災害時だけでなく、平常時から防災意識を共有する「職員一人ひとりが防災の担い手」となる組織づくりを進めます。

**■取組の目的**

- ・防災士は「NPO法人日本防災士機構」の資格で、気象や災害の基礎知識、災害時の初動対応等を学び、試験に合格することで取得できる資格です。
- ・町全体の防災力を高めること、職員全員が防災士の知識を持つことでどの部署でも災害対応ができる体制を築き、住民の安全確保につなげることができます。

**■取組の概要**

- ・今年度から防災士育成事業補助金を創設し、和水町民または町内の事業所等に勤務する方の資格取得に係る費用の全額を補助しています。今年度は若手職員を中心に約60名が資格取得を目指す防災士の養成講座（※）を受講し、5年以内に全職員が取得することを目指します。
- ・この取組みに先駆け、石原町長、藤本副町長も防災士の資格を取得しました。  
※熊本県危機管理防災課主催の「火の国ぼうさい塾」（令和7年12月6日（土）～7日（日）、令和8年1月17日（土）の3日間、和水町中央公民館で開催）

**■今後の展望 ～地域とともに育む防災活動～**

- ・災害時には一丸となって対応できる体制を構築すること、平常時には行政と地域が一体となり、地域の防災力向上を図る活動を行うことが最終目標です。防災士資格を持つ職員が地域の防災リーダーとして、担当する自主防災組織（6組織）の防災啓発活動や地域防災計画の策定などに関わっていく予定です。
- ・有資格者間の連携やスキルアップを目的に令和7年度中に和水町防災士連絡協議会（仮称）の設立を予定しています。資格を取得するだけでなく実践へつなげるフォローアップにも取り組みます。

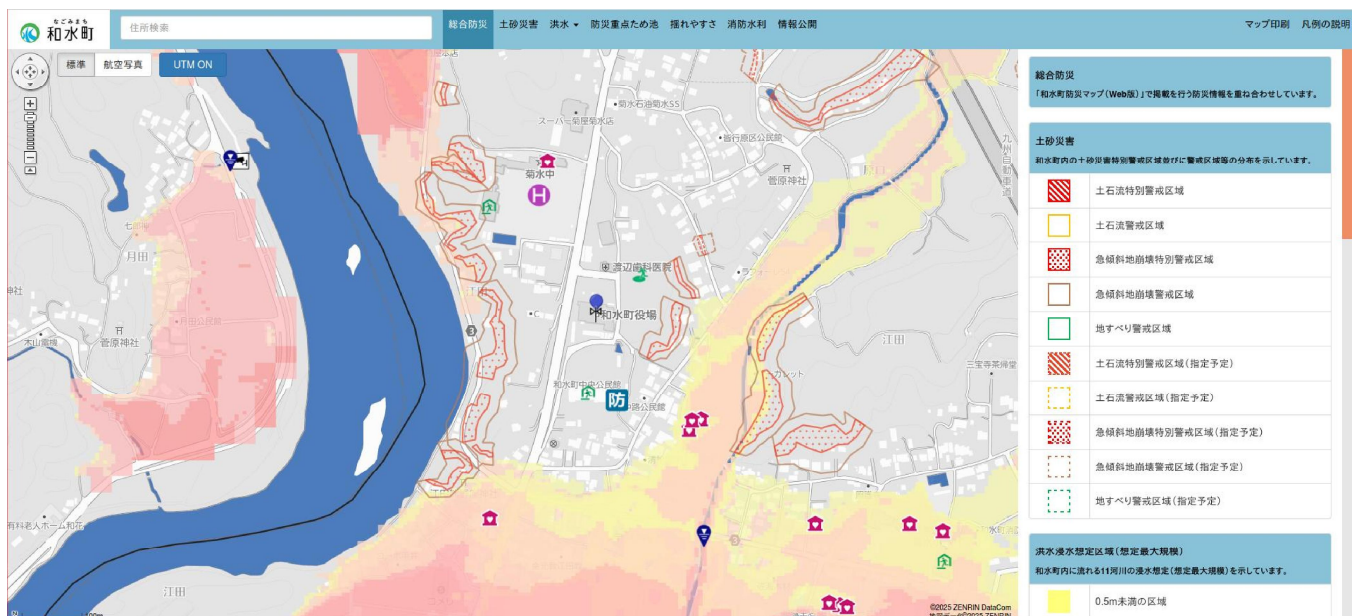


## ■ 1) ⑤防災情報の提供【平常時の情報】【和水町】

### ■想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、津波、高潮等を踏まえたハザードマップ及び避難計画の見直し

○令和5年度に、『和水町総合防災マップ』を更新・作成し、全世帯に配布。また『和水町総合防災マップWEB版』を作製。

○令和6年6月に『和水町総合防災マップWEB版』を一般に公開。



# 【長洲町】

## ■ 1) ①水防学習・教育の推進【長洲町】

### ■ 防災に関する継続性のあるイベント等の企画、実施

- 昨年度に引き続き防災フェアや、地域防災リーダー育成のため長洲町・荒尾市・南関町・大牟田市と合同で「防災士養成講座」を実施した。
- これまでに整備した資機材を活用し、避難所運営訓練の開催や、救助艇や重機の操作習熟訓練を継続的に実施した。



【第38回金魚と鯉の郷まつり 防災フェア】



【消防による重機を使った訓練】



【第38回金魚と鯉の郷まつり  
防災フェア(消防団ブースの様子)】



【救助艇を使った訓練】

## ■ 1) ①水防学習・教育の推進【長洲町】

### ■小中学校における水災害教育等の実施及び共通テキスト検討、作成、避難確保計画を作成、避難訓練を実施

#### 【長洲中学校と連携し防災教育を開始】

令和7年度より、生徒一人一人が「自らの命は自ら守る」意識の向上と、災害時に生き抜く力を養うことを目的に、防災教育を実施した。

実災害時に、避難者ではなく運営側で活躍できる人材を育成することで、減災に繋げる。

学習は「知識の蓄積」(防災講話)→「知識のアウトプット」(HUG)→「実体験による知識の定着とブラッシュアップ」(設置演習)を意識した構成で実施した。

※長洲町・中学校・学校運営協議会・防災士で連携して実施。

また、令和7年度においては内閣府との共催であり、そのノウハウを蓄積した。

9月：防災講話（※一般参加あり） 10月：HUG訓練 11月：避難所設置演習



【防災講話】



【中学校にて避難所の机上訓練(HUG)】



【避難所設置演習】

## ■ 1) ②③④災害発生を想定した事前準備【自助】【共助】【公助】【長洲町】

### ■防災に関する継続性のあるイベント等の企画、実施

#### 【町民参加型訓練、町職員の災害対応訓練、防災士の地域防災リーダーとしての活動】

○令和7年度より全町民を対象とした「地震・津波防災訓練」を実施した。防災行政無線や防災メール等を活用し、訓練開始の合図とともにシェイクアウト訓練を各自で実施後、町内5小中学校を緊急避難場所とし避難を実施した。【自助】

○同日に町職員を対象とした「災害対策本部設置訓練」を行い、参集訓練から災害対策本部の立ち上げ⇒各課・班にて災害対応⇒情報の集約等を実施した。【公助】

○地域の防災訓練等へ防災士を講師として派遣する事業をR7年度より開始。上述の訓練をはじめ、小中学校での防災教育などでも活躍している。【共助】



【地震・津波防災訓練 緊急避難場所】



【職員による災害対策訓練】



【防災士による講話】

# 【荒尾市】

## ■ 1) ①水防学習・教育の推進【荒尾市】

### ■ 防災に関する継続性のあるイベント等の企画、実施

○令和7年8月31日（日）に荒尾総合文化センターにおいて開催したあらお防災フェスタにおいて、来場した子供たちに水防に関する学習の一環として、降雨体験及び浸水ドアなどの体験コーナーの開設した。また、防災グッズや食料品の事前準備を促す啓発活動を行った。



## ■ 1) ③ 災害発生を想定した事前準備【共助】【荒尾市】

### ■ 地域の防災リーダー育成の支援を実施

○防災士の連携や交流を目的に、令和6年8月4日荒尾市防災士会を設立し、令和7年8月3日に令和7年度荒尾市防災士会総会・研修会を開催。研修会では、三原市防災ネットワークの竹原氏から平時からの備えや顔の見える関係作り、実際に被災した経験を講話いただいた。



令和7年度荒尾市防災士会総会



防災士会研修  
講師：竹原 茂氏  
(三原市防災ネットワーク)

## ■ 1) ③ 災害発生を想定した事前準備【共助】【荒尾市】

### ■ 地域の防災リーダー育成の支援を実施

○小学校12年生を対象に荒尾市防災士会の防災士が防災バッグについて出前講座を実施。  
○令和8年1月17日に荒尾市防災士会による大型商業施設と連携した防災啓発イベントを開催。




(左上)防災士が小学校で出前講座をする様子。  
(右上)大型商業施設のテナントによる防災グッズ展示の特設コーナー。  
(右下)消防車やパトカーの車両展示、煙体験など。



## ■ 1) ③災害発生を想定した事前準備【共助】【荒尾市、長洲町、南関町】

### ■ 地域の防災リーダー育成の支援を実施

○地域防災リーダー育成のため、令和7年11月30日、12月6日、17日に長洲町、大牟田市、南関町と合同で防災士養成講座を実施した。



The screenshot shows a webpage from the city of Arago (荒尾市) titled "令和7年度防災士養成講座を開催します" (We will hold the disaster prevention training course for the fiscal year 2025). The page includes the following information:

- 日時 (Date and Time):**
  - 令和7年11月30日(日曜日)9時00分から12時00分 (普通救命講習)
  - 令和7年12月6日(土曜日)9時00分から18時00分
  - 令和7年12月7日(日曜日)9時00分から18時00分 (17時00分から18時00分 防災士資格取得試験)
- 備考 (Notes):**
  - 時間は予定です。
  - 3日態すべて受講する必要があります。ただし、1日目の普通救命講習については、5年以内の救急救命講習修了証を取得済みの方にかぎり受講が免除できます。
  - 最終日の最後の時間に認証試験を実施します。
- 場所 (Venue):** 大牟田市消防本部4階 (〒836-0844 大牟田市浄真町46番地)
- 主催 (Organizer):** 大牟田市・荒尾市・長洲町・南関町



防災士養成講座の様子

# 【合志市】

## ■ 1) ①水防学習・教育の推進 【合志市】

### ■ 防災に関する持続性のあるイベント等の企画、実施

○令和7年11月1日（土）に合志市社会福祉協議会（以下「市社協」）が「災害ボランティアセンター設置訓練」をを実施。本訓練の一般参加者は35名で、当日は合志市防災士連絡協議会員12名の協力のもと、以下①～⑥のボランティア活動を実施した。

- ①避難所準備、②被災住宅の清掃、③浸水防止、④公民館備蓄品の整理、  
⑤防災食準備、⑥フードパントリーの食品仕分け



①避難所準備



②被災住宅の清掃



③浸水防止（土のう作り）



④公民館備蓄品の整理



⑤防災食準備



⑥フードパントリーの食品仕分け

## ■ 1) ①水防学習・教育の推進 【合志市】

### ■ 防災に関する持続性のあるイベント等の企画、実施

○合志市防災士連絡協議会は、令和8年1月18日（日）に、合志市防災拠点センターで、4回目の防災士スキルアップ訓練として災害対応（実技）訓練を実施。

本訓練は、消防署員指導のもと、応急救護訓練、救出救助訓練、消火訓練を講義と実技で行うものであり、21名の参加者は、火災に関する基本的な知識や負傷者等への処置、救助資材等の取り扱いなど災害対応の基本的な知識や技能について学習した。



消火栓の取扱要領



トリアージに関する講義



ロープの結索法



心肺蘇生法



呼吸がある場合の処置

合志市防災士  
連絡協議会HP



協議会の活動を市HPに掲載していますので是非ご覧ください。

# 【南関町】

## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

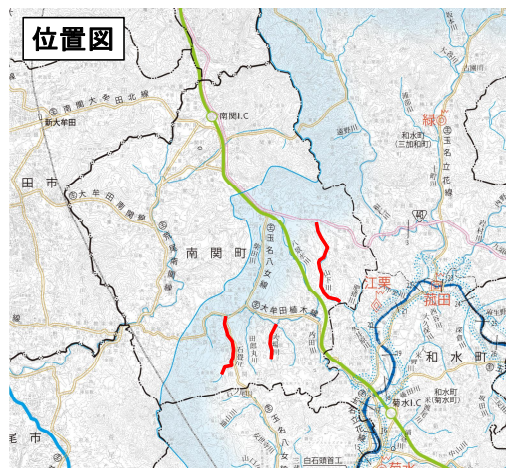
河道掘削

南関町

○河道掘削を行い、浸水被害防止を図る。

### ■取組内容の説明

石畳川・山下川の掘削状況(令和7年度実施)



### ■令和7年度時点の取組進捗状況

石畳川・山下川・大場川の河道掘削を実施。  
令和8年度以降も河道掘削を実施予定。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河道掘削	河道掘削	R7時点	-----	目標

# 完了 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策

防災広場調整池整備

南関町

○防災広場の整備で地下埋設型調整池を設置し、集中豪雨に対応する。

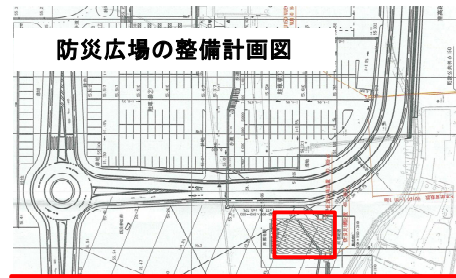
## ■取組内容の説明



完成写真

南関町役場  
新庁舎

地下埋設型調整池設置完了(令和4年1月)



防災広場の整備計画図



貯留槽設置完了

## ■令和4年度時点の取組進捗状況

防災広場に地下埋設型調整池(約500m<sup>3</sup>)を設置しており、敷地内の雨水を集約・貯留し、流量を調整する機能をもつ。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
防災広場の調整池の設置	地下埋設型調整池の設置	完了		

## ■ 1) ⑤防災情報の提供【平常時の情報】【南関町】

### ■想定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、津波、高潮等を踏まえたハザードマップ及び避難計画の見直し

○南関町では、平常時から住民が災害リスクを把握し、適切な避難行動につなげられるよう、ハザードマップの更新を実施した。洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の最新情報を反映し、危険箇所や避難行動のイメージが住民に伝わるよう内容の整理を行った。今後は、町ホームページ及び区長便等での周知に加え、地域や学校等での活用を促し、防災意識の向上と早期避難につなげていく。

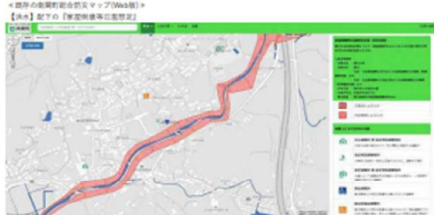
令和7年度更新内容

1	【A】の2階層【集約調整池(完成済)】に【集約し過ぎ調整区域】の図説を追加
2	【B】の4階層【集約調整池(完成済)】に【集約し過ぎ調整区域】の図説を追加
3	【B】の5階層【集約調整池(完成済)】に【集約し過ぎ調整区域】の図説を追加
4	【B】の6階層【集約調整池(完成済)】に【集約し過ぎ調整区域】の図説を追加
5	【B】の7階層【集約調整池(完成済)】に【集約し過ぎ調整区域】の図説を追加
6	【B】の8階層【集約調整池(完成済)】に【集約し過ぎ調整区域】の図説を追加
7	【B】の9階層【集約調整池(完成済)】に【集約し過ぎ調整区域】の図説を追加

南関町総合防災マップ(A5版) サンプルサイト 日本語版URL



①【A】の2階層【集約調整池(完成済)】に【集約し過ぎ調整区域】の図説を追加



南関町総合防災マップ(A5版)のサンプルサイト



②災害発生時避難誘導情報更新



赤色の点にチェックボックスを添付 ※2階層の点のみは2階層前にチェックボックスにチェックを入れると該当のハザード情報を表示  
階層別図説に併し、凡例の表示を折りたたみし、全ハザード情報の図説を確認

# 【大津町】

## 完了 菊池川水系流域治水プロジェクト 【流域治水対策内容のフォローアップ】

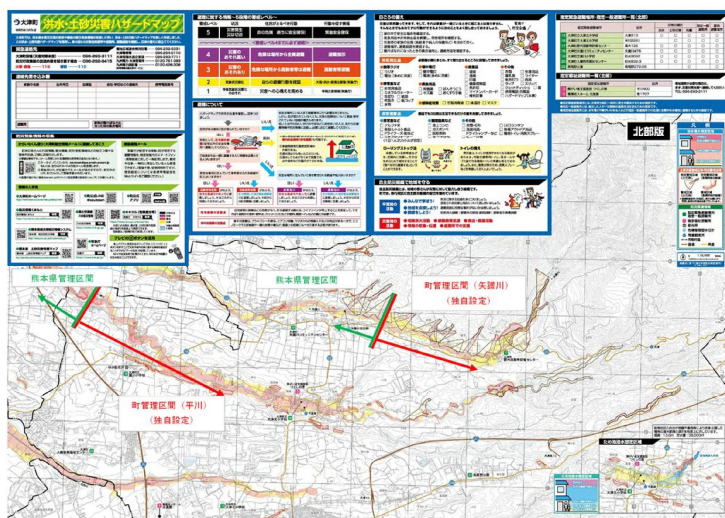
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

町管理河川の洪水浸水想定区域設定

大津町

○菊池川水系である矢護川と平川について、熊本県管理区間においては洪水浸水想定区域が設定されていたが、町管理区間には洪水浸水想定区域が設定されていなかった。過去には町管理区間において洪水被害が生じたことも踏まえ、町独自に町管理区間においても洪水浸水想定区域を設定し、ハザードマップを更新・周知する。

### ■取組内容の説明



### ■令和5年度時点の取組進捗状況

町管理区間の洪水浸水想定区域設定、ハザードマップの更新・周知が完了した。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
土地の水災害リスク情報の充実	町管理区間の洪水浸水想定区域設定 ハザードマップの更新・周知	完了		

## 完了 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

ため池の補強・有効活用

大津町

○菊池川水系平川に流入する農業用ため池が豪雨時に決壊しないための堤体部強化を行う。

### ■取組内容の説明



着工前



竣工



### ■令和4年度時点の取組進捗状況

堤体法面の整備及び水位計、監視カメラの設置を行った。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
ため池の補強	堤体法面の整備	完了		

## 完了 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

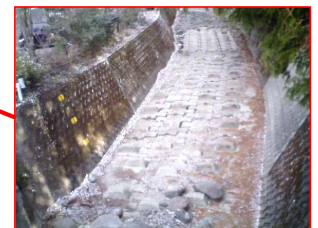
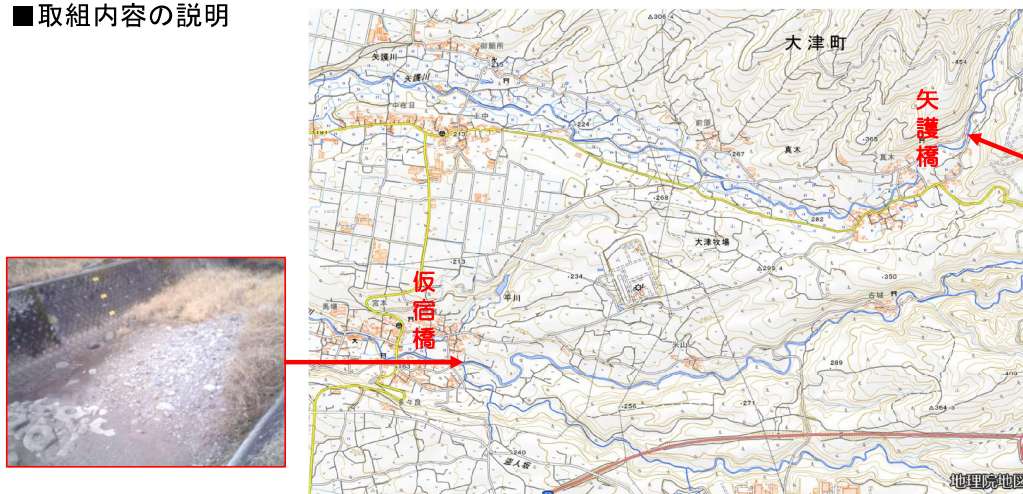
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

河川監視カメラの設置

大津町

○菊池川水系である矢護川と平川について、定点カメラ（静止画像）を設置していたが、ライブカメラに切り替えることにより監視体制を強化する。

### ■取組内容の説明



### ■令和4年度時点の取組進捗状況

河川監視カメラの設置が完了した。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
土地の水災害リスク情報の充実	河川監視カメラの設置	完了		

# 【熊本地方気象台】

## 更新 ■ 令和7年度の防災等に関する取り組み 【熊本地方気象台】

市町村における地域防災支援のための気象解説について、Web会議を活用した定期的な気象解説、および悪天時の常時接続等の実施により改善

- 県、市町村、報道機関等を対象として出水期（6月～10月）の毎週金曜日にWeb定時気象解説（1週間先までの見通し）及び気象解説資料の提供
- 大雨の警報級の可能性が高まった場合等はWEB臨時気象解説を実施、さらに複数市町村への土砂災害警戒情報等の警戒レベル4相当情報発表が想定される場合は、県及び市町村、河川事務所へのWEB解説を常時接続にして、リアルタイムで相互に情報交換ができる環境を整えている。

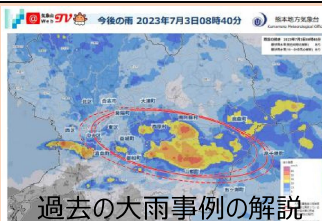
### 定期的なWeb気象解説 毎週金曜11:30～



当日スケジュール  
～10時開催案内(解説内容・URL)  
～11時半 資料送付  
11時30分～定時気象解説

#### 解説内容

- ・季節に応じた天気の見通し
- ・要望に応じた気象知識
- ・地震火山に関する知識



### 臨時のWeb気象解説 (悪天時常時接続)



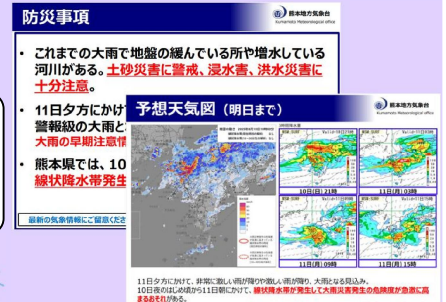
#### 解説内容

- ・天気の見通し(現象のピークなど)
- ・警報等発表の見通し
- ・警報等解除の見通し



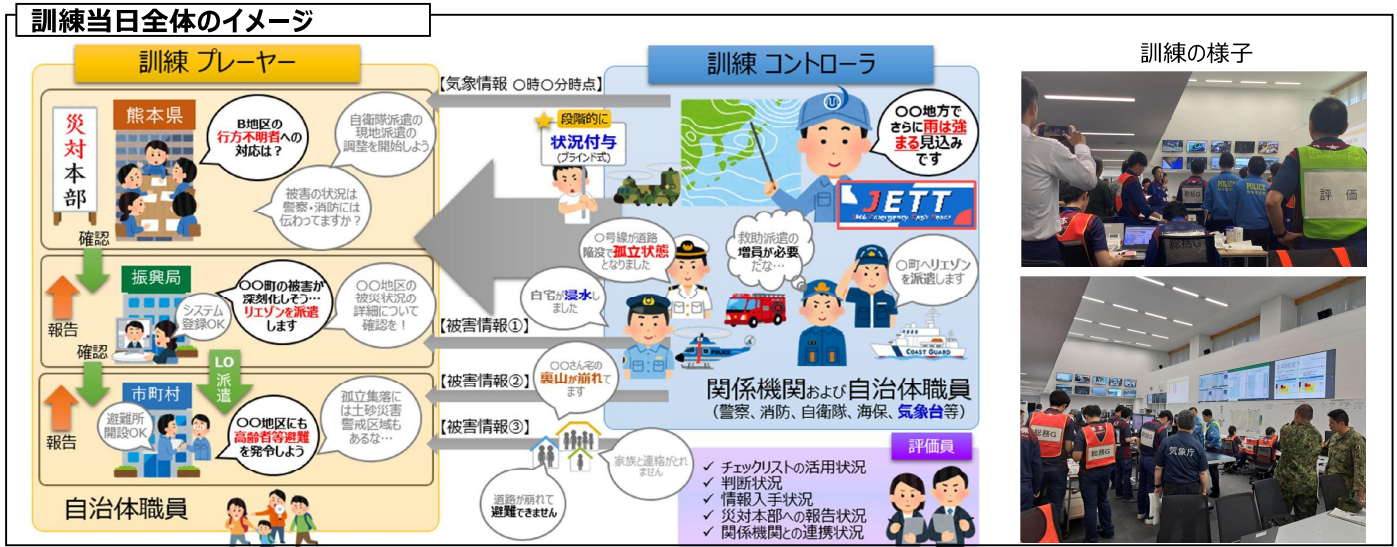
悪天時の常時接続の様子

### 解説資料の提供



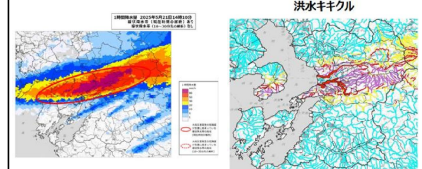
## 更新 ■ 令和7年度の防災等に関する取り組み 【熊本地方気象台】

- 熊本県が行う令和2年7月豪雨を教訓に防災担当職員の対応能力向上および関係機関との連携強化を図る豪雨対応訓練への参加協力
- 令和7年は東京大学先端科学技術研究センターClimCORE（クライムコア）と連携し、再解析（平成29年7月九州北部豪雨）データを利用した訓練を8市町（熊本市、益城町、甲佐町、嘉島町、御船町、宇土市、宇城市、美里町）で実施（令和8年も実施予定）。



### 気象台の役割

- 気象情報に関連するシナリオ作成
- 市町村に特化した付与資料（防災情報等）の作成
- コントローラ役としての訓練参加、JETT派遣を想定した災害警戒本部運営訓練等での気象解説（令和7年は県に7回と8市町村に派遣）



※再解析データによる解析雨量、キキクル

## 【菊池川河川事務所】



## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河道掘削、樹木伐採(和水町)

菊池川河川事務所

○河道の流下能力向上のため、菊池川の河道掘削、樹木伐採を行う。

### 取組内容の説明



### 令和7年度時点の取組進捗状況

樹木伐採を実施中。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
河道掘削、樹木伐採	河道掘削、樹木伐採			

## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

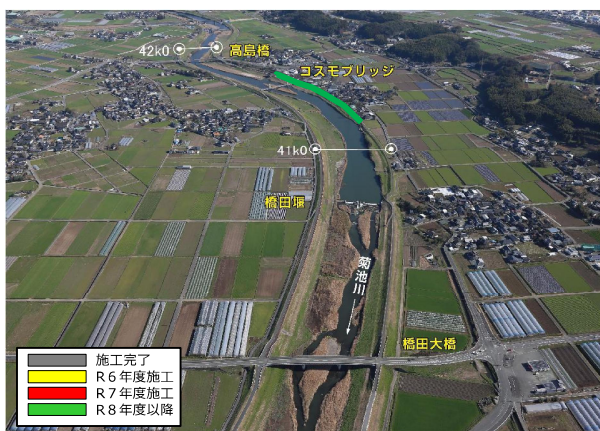
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

堤防整備(菊池市)

菊池川河川事務所

○洪水を安全に流下させるため、菊池川(亀尾地区)の堤防整備を行う。

### 取組内容の説明



### 令和7年度時点の取組進捗状況

堤防整備を実施している。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
堤防整備	堤防整備			

## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

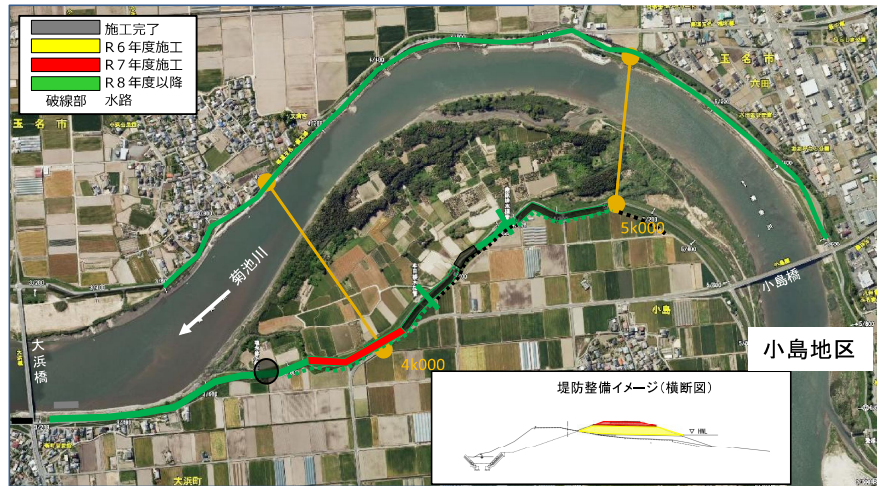
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

堤防整備(玉名市)

菊池川河川事務所

○洪水を安全に流下させるため、菊池川(小浜地区、小島地区)の堤防整備を行う。

### ■取組内容の説明



### ■令和7年度時点の取組進捗状況

堤防整備及び樋管改築を実施している。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
堤防整備	堤防整備	R7時点	目標	目標

## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害対象を減少させるための対策

防災拠点整備(玉名市)

菊池川河川事務所  
玉名市

○洪水時の水防活動や緊急復旧活動を行う拠点となる「河川防災ステーション」の整備を行う。

### ■取組内容の説明



### ■令和7年度時点の取組進捗状況

令和4年3月25日に「元玉名地区河川防災ステーション」整備計画が登録された。  
令和4年度から測量設計・用地調査を実施している。  
令和6年度から盛土工事に着手。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
防災拠点整備	河川防災ステーション	R7時点	目標	目標

## 更新 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

水害リスクマップ作成・公表

菊池川河川事務所

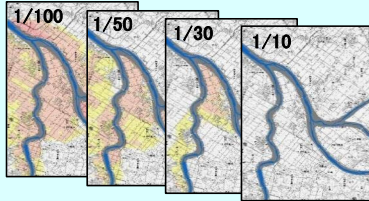
○流域治水の取組を推進するため、水害リスクマップを作成し公表する。

### ■取組内容の説明

- 国や都道府県では、これまで、水防法に基づき住民等の迅速かつ円滑な避難に資する水害リスク情報として、想定最大規模降雨を対象とした「洪水浸水想定区域図」を作成し公表してきました。
- 国土交通省では、これに加えて、**土地利用や住まい方の工夫の検討及び水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討**など、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、国管理河川以外の河川の氾濫や下水道等の内水氾濫を考慮した内外水統合型の「多段階浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を作成・公表しました。(令和8年3月公表)

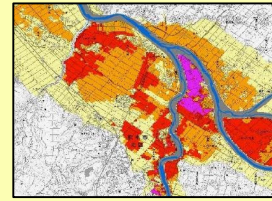
#### 【多段階の浸水想定図】

想定最大規模に加え、高頻度から中頻度で発生する降雨規模毎(1/10、1/30、1/50、河川整備の計画規模(1/100))も作成した浸水想定図。



#### 【水害リスクマップ】

多段階の浸水想定図を用いて、降雨規模毎の浸水範囲を浸水深3パターン(0cm以上、50cm以上(床上浸水)、3m以上(1階居室浸水))に重ね合わせて作成した図面。



### ■令和6年度時点の取組進捗状況

令和4年4月28日に多段階の浸水想定図及び水害リスクマップを作成し、公表した。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
水害リスクマップ作成・公表	水害リスクマップ作成・公表	R7時点 <span style="float: right;">103</span> 目標		

## 継続 菊池川水系流域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

流域治水に関する情報を発信

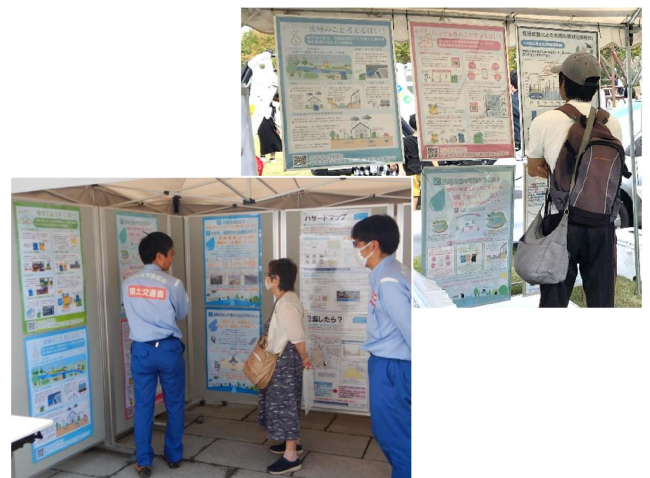
熊本河川国道・八代河川国道・菊池川河川事務所  
熊本県

○熊本県内の住民に対して、流域治水に関する情報を発信する。

### ■取組内容の説明

#### 【くまもと流域治水プロジェクト】

- 流域治水とは？
- 流域治水は誰のためにやるのか
- 流域治水は何をするのか
- 自分や家族のことを守ること
- 流域のことを考えること
- 地域で協力すること



イベント展示による流域治水の啓発活動

### ■令和6年度時点の取組進捗状況

熊本県内の河川事務所と熊本県で、くまもと流域治水プロジェクト推進連絡会を設置。連絡会にて、流域治水の取り組み内容を紹介するパンフレット、ポスターを作成し、イベント展示等での啓発活動を行った。

対策内容	実施内容	取組工程の進捗状況		
		短期	中期	中長期
流域治水PR	流域治水を情報発信	R6時点 <span style="float: right;">目標</span>		

# ■ 1) ①水防学習・教育の推進 【菊池川河川事務所】

## ■ 防災に関する継続性のあるイベント等の企画、実施

○各自治体の防災イベントへの参加や、地域住民等を対象とした、防災講習や体験型防災講座を実施した。



令和7年5月 防災フェア  
(主催：熊本市植木町田底校区)



令和7年8月 あらお防災フェスタ  
(主催：荒尾市)



令和7年10月 防災フェア  
(主催：長洲町)



令和7年10月 ふくし講座  
(主催：和水町社会福祉協議会)



令和7年11月 北区こどもまつり  
(主催：北区こどもまつり実行委員会)

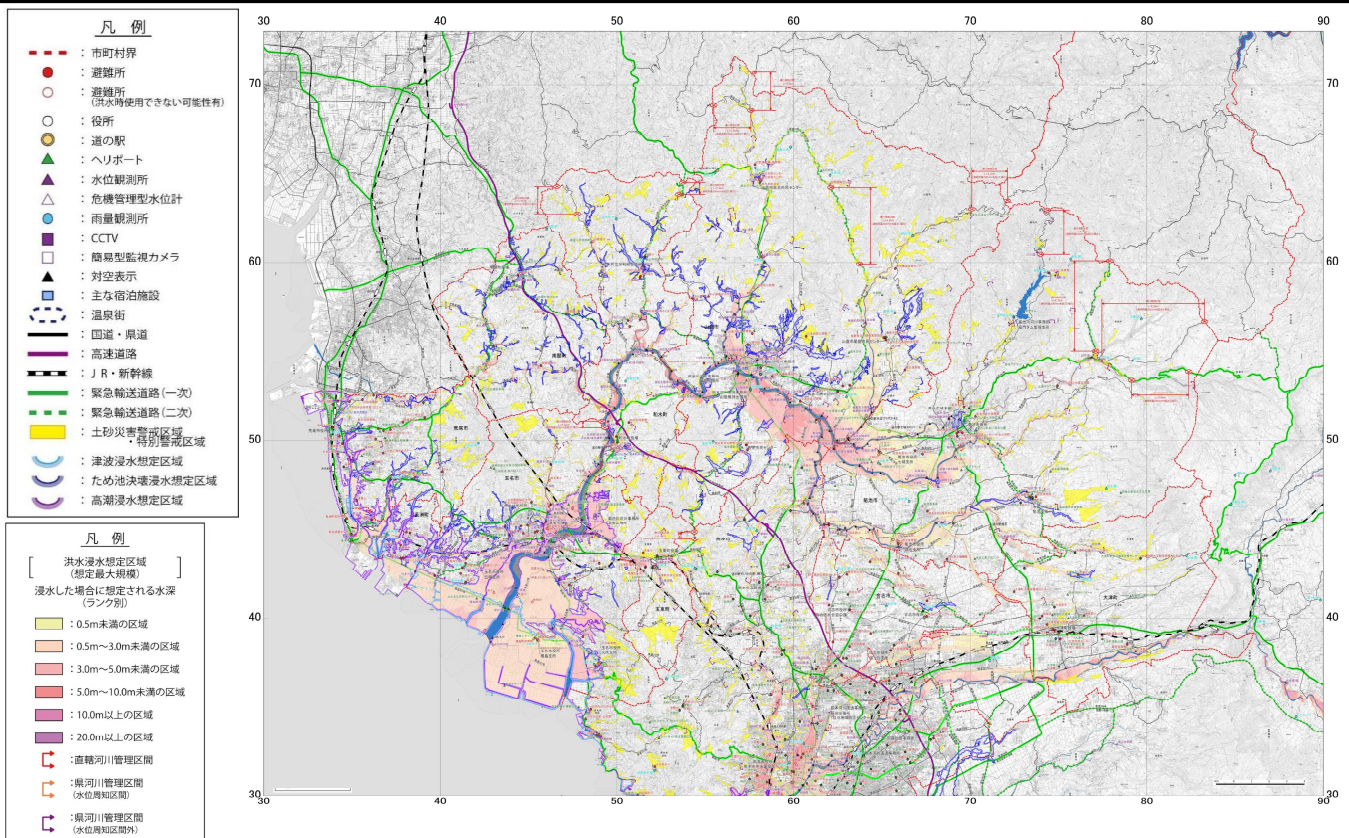


令和8年1月 山鹿市防災のついで  
(主催：山鹿市社会福祉協議会)

# ■ 1) ⑤各自治体が広域的に連携できるための仕組みづくり【避難計画】(1、2)【全関係機関】

## ■ 熊本県北地域全体の自然災害による被災履歴等災害情報を表示した広域ハザードマップの検討、作成

○ため池ハザードマップ、避難所の情報を更新するなど、広域ハザードマップの更新を行った。



■ 1) ⑦水害時の適切な避難行動 【菊池川河川、熊本県、菊池市】

■ 地区の住民が主体となったマイハザードマップの作成・支援及び避難訓練の検討、実施

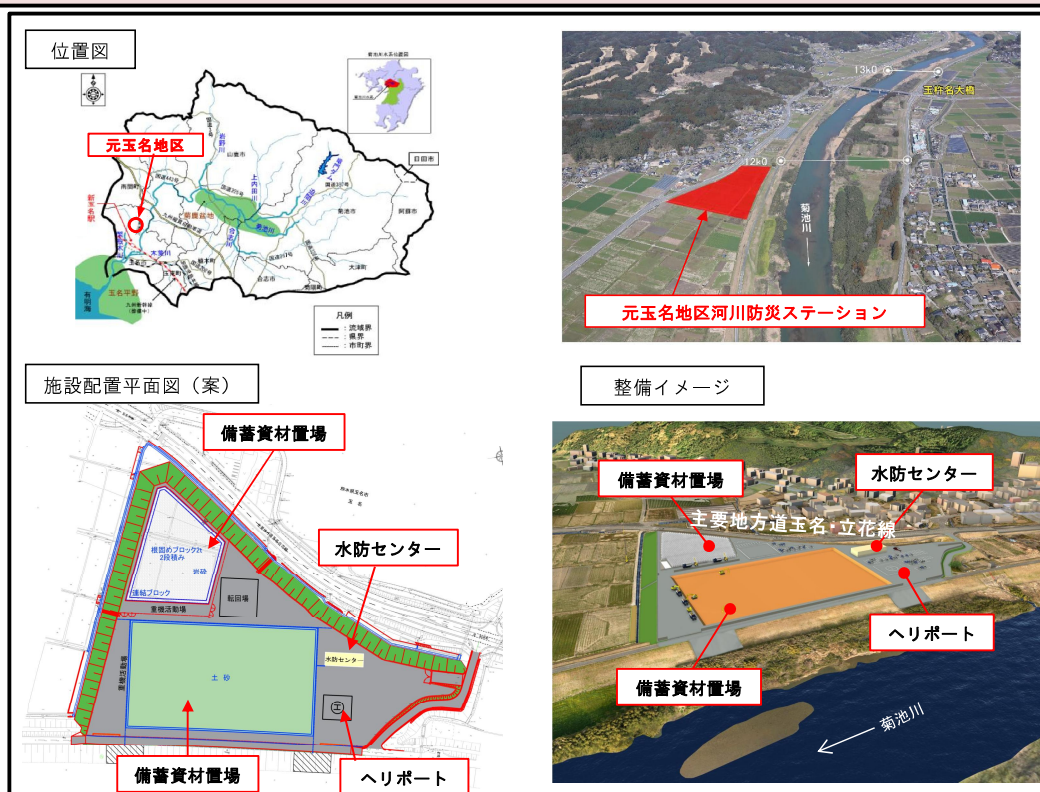
○令和8年1月25日に、菊池市上赤星地区で防災まち歩き地域ワーキングを実施した。  
 ○指定避難所までのルートをも、市・県・国の職員と一緒に、危険な箇所や気づきについて対話しながら歩き、防災のポイントについて一緒に考えた。



■ 3) ①防災情報提供を支援するハード整備 【菊池川河川事務所、玉名市】

■ 浸水被害を最小限に抑えるため、迅速な水防活動及び緊急復旧活動を行う拠点となる河川防災拠点等の検討、整備

○洪水時の水防活動や緊急復旧活動を行う拠点となる「河川防災ステーション」の整備を玉名市と連携し進めている。令和7年度も造成工事を実施し、令和8年度完成予定である。



※今後、詳細な設計等を実施により、実施内容を変更する場合があります。